

健康栄養学部報

第2号

平成23(2011)年度

高知県立大学 健康栄養学部

平成23(2011)年4月、高知女子大学は、校名を「高知県立大学」に変更しました。

目次

I. 健康栄養学部の歩み	1
1. 沿革	4
2. 写真で見る平成 23 年度	4
3. 組織	7
4. 学部の教育理念	7
II. 健康栄養学部の教員構成	9
III. 健康栄養学部の教育課程	13
1. 平成 23 年度開講科目	15
2. 学生の研究（卒業研究題目一覧）	16
3. 学外実習先一覧	17
IV. 学生の記録	19
1. 学生定員および出身県別在籍学生数	21
2. 入試状況の概要	22
3. 卒業生の進路状況（就職状況）の概要	24
4. 国家試験の合格状況（平成 23 年度）	25
5. 学生を中心とした活動	26

V. 教員の教育・研究・地域貢献活動 …… 33

1. 植田 哲雄 …… 35
2. 川村 美笑子 …… 36
3. 佐藤 厚 …… 38
4. 逸見 幾代 …… 40
5. 村上 尚 …… 42
6. 渡邊 浩幸 …… 43
7. 和田 安彦 …… 45
8. 荒牧 礼子 …… 48
9. 島田 郁子 …… 50
10. 西岡 道子 …… 52
11. 廣内 智子 …… 53
12. 三木 章江 …… 56
13. 田中 守 …… 57
14. 古川 弘子 …… 60
15. 彼末 富貴 …… 62
16. 川村 真美 …… 63
17. 沼田 聡 …… 65

VI. 各種委員会活動報告 …… 67

1. 入試実施委員会 …… 69
2. 教務委員会 …… 70
3. 学生委員会 …… 73
4. 学部就職担当 …… 74
5. 広報委員会 …… 78
6. 地域創成センター推進委員会 …… 79
7. 健康長寿センター運営委員会 …… 80
8. 国際交流委員会 …… 82
9. 健康管理センター運営委員会 …… 84
10. 総合情報センター運営委員会 …… 86
11. 人権委員会 …… 87
12. 健康栄養学研究倫理専門審査委員会 …… 87
13. 紀要編集委員会 …… 88



I

健康栄養学部の歩み

健康栄養学部 2 年目を終えて

高知県立大学

健康栄養学部長 佐藤 厚

本冊子は健康栄養学部2年目の教育・研究活動をまとめたものです。学部の充実のためにはまだまだ多くの努力と時間を必要とします。そのためにも学部構成員である個々の教員が現状に満足するのではなく、自己の目的・目標に照らして自己点検および評価をおこない、その改善と充実に向けて不断の努力をおこなうことは不可欠です。また、その不断の努力こそが学部の将来の発展を大きく左右すると信じています。

健康栄養学部初年度、健康栄養学部の整備・充実のための基本方針として以下の3つを4カ年計画にあげています。

- (1) 教員個々の教育・研究・社会貢献への対応
- (2) 教育環境の充実
- (3) 我が国に於ける国公立大学初の健康栄養学部に対する県民の期待への対応および地域住民への還元

昨年度の末には、「東北地方太平洋沖地震」が発生し、巨大津波が人を、車を、家を、町を襲い、死者・行方不明者2万人という未曾有の被害をもたらし、人々に甚大な損失と恐怖を与えました。我々が忘れてならないことは、この地球上で地震等の大きな災害は絶えることなく発生し、大きな被害をもたらしていくことです。

しかし、大きな災害が発生したならば、栄養不足は誰を襲うのか？また誰にどのような食量をどのように提供したらよいのかという災害時において住民の生命を守るための体制は法の整備も含めほとんど出来ておりません。

健康栄養学部では、上記4カ年計画に加え、災害時における栄養学、即ち災害栄養学を構築し、きたるべき「南海地震」、そしてこれから起きるであろう全ての災害に備え、地域と連携した防災対策の取り組みを行ってまいります。

I - 1. 沿革

昭和19年12月29日	高知県立女子医学専門学校設立認可
昭和22年3月31日	高知県立女子専門学校設立認可
昭和24年2月21日	高知女子大学（家政学部生活科学科）設立認可
昭和39年4月1日	家政学部生活科学科を家政学科・食物栄養学科・生活理学科に改称
平成15年4月	管理栄養士養成施設として認可
平成22年4月	生活科学部健康栄養学科から健康栄養学部健康栄養学科に学部昇格（定員20名→40名） 本部及び健康栄養学部が池キャンパスに移転
平成23年4月	高知県立大学法人が設置・運営する大学に移行 男女共学化により校名を「高知県立大学」に変更

I - 2. 写真で見る平成23年度

- 平成23年4月10日（日） 高知市文化プラザかるぽーとで入学式を開催
平成23年4月21日（木） 創立記念日 バスハイクへ
（桂浜→高知県立坂本龍馬記念館→高知県立牧野植物園）
平成23年7月24日（日） 親子でスリム教室開催



1. スリムキャンプ



2. スリムキャンプ

- 平成23年7月23日（土）24日（日） 「子育て支援イベントすこやか2011」に参加
「苦手な野菜を好きになってもらおう！」をテーマに食育を行う。



3. すこやか



4. すこやか

平成23年 8月～12月 高知市中央卸売市場でお魚教室を開催



5. お魚教室



6. お魚教室

平成23年 9月 地域保健臨地実習を高知県内の福祉保健所で行う
 平成23年 9月25日(日) JICA研修「へき地での保健医療体制の向上」の研修員が健康栄養学部
 の国際プログラムに参加



7. JICA



8. JICA

平成23年10月23日(日) 「親子でスリム教室」がこうち子育て応援フォーラム2011に参加
 平成23年12月16日(金) 調理実演セミナーおよび特別養護老人ホームの見学
 平成23年12月22日(木) 卒業研究発表会開催
 平成24年 1月 2012年版カレンダー配布
 ～高知医療センター・高知県立大学との包括的連携協議会健康栄養連携部会～

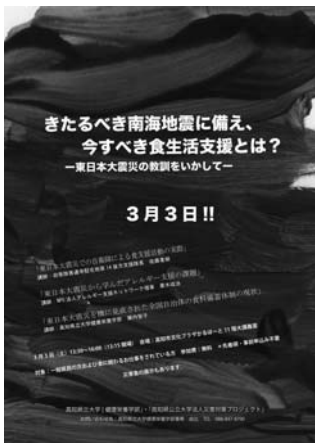


9. カレンダー



10. カレンダー

平成24年 1月 就職セミナー「教えて！先輩 健康栄養学部偏」開催
 平成24年 2月 医療センターで病院臨地実習
 平成24年 3月 3日(土) 公開講座「きたるべき南海地震に備え、今すべき食生活支援とは？
 ～東日本大震災の教訓をいかして～」を開催



11. 公開講座ちらし



12. 3.3公開講座

平成24年 3月 19日(月) 平成23年度卒業式開催



13. 卒業式



14. 卒業式

平成23年 3月 24日(土) リカレント公開講座「こんな嚥下食ご存知ですか？」開催



15. 3.24リカレント



16. 3.24リカレント

I - 3. 組織

		■学部入学定員270名	■大学院入学定員39名
学部等	学科/研究科	入学定員	3年次編入定員
文化学部	文化学科	80名	5名
	文学専修		
	文化創造専修		
	言語コミュニケーション専修		
看護学部	看護学科	80名	4名
社会福祉学部	社会福祉学科	70名	-
健康栄養学部	健康栄養学科	40名	-
生活科学部	生活デザイン学科	募集停止	-
	環境理学科	募集停止	-
大学院	看護学研究科 修士課程	15名	-
	人間生活学研究科 修士課程	18名	-
	健康生活科学研究科 博士後期課程	6名	-

I - 4. 学部の教育理念

食の多様化に伴う安全・栄養・健康に関する情報が氾濫するなか、食環境の整備に貢献し、健康・栄養教育に携わることのできる人材を養成する。また、社会構造の複雑な変化により、食の乱れが大きく影響し、国民全体の食習慣や食行動が多様化した。本学部・本学科は、このような現代社会の問題に対応しようとする食生活支援や外食・中食等のビジネスに対し、健康・栄養に関する専門的知識を理解し、提案できる人材を養成する。複雑化する少子・高齢化社会の進展に対応して、乳幼児期から青年期、壮年期、高齢期の生涯にわたって、健康の保持・増進のための栄養教育に貢献するための実践的な専門知識・指導力を養成する教育と研究を目的とする。増大する健康と栄養の関わりに積極的に取り組み、健康的な社会の構築に貢献できる教育と研究を目指すことを特徴とする。

また、人間や健康、環境の本質を理解しながら、生命の源である「食」を探究し、人々が健康に生活できるよう幅広い分野で貢献できる人材を養成する。本学部は、学術の中心としての大学を意識し、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教育研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的としている。

～ 目指す管理栄養士像として ～

1. 今日、医療技術が進歩しただけではなく、疾病構造も大きく変化している。医療・福祉領域においては、これらの変化や個々の遺伝的素因に対応した栄養管理能力だけでなく、栄養・給食関連サービスのマネジメント能力も要求される。専門知識や技術、そして人間力を備え、管理栄養士の立場と役割を理解してチーム医療に貢献できる人材の育成を目指す。
 - ① 保健・医療・福祉に関する多様な専門領域の基本となる知識・能力を養う。
 - ② 構造変化する保健・医療・福祉制度を理解し、幅広い対象者に適切な助言ができる能力を養う。
 - ③ 健康の保持増進、疾患の一次、二次、三次予防のための栄養教育を行う能力を養う。
 - ④ チーム医療の重要性を理解し、多職種や患者とのコミュニケーションを円滑に進める能力を養う。
 - ⑤ 管理栄養士としての知識・技術・姿勢及び考え方の総合的能力を持ち、医療・福祉関連の従事者としてだけでなく、異業種従事者としても貢献できる能力を養う。

2. 在宅での栄養・食事管理指導者として貢献できる専門知識や技術のみならず人間力を備えた人材の育成を目指す。
 - ① 退院後の在宅治療者、障害者や高齢者に対しては、食事を楽しめる工夫を食材や調理の観点から取り入れ、食生活のレベルアップにより社会復帰を支援する技術を養う。
 - ② 介護にかかわるさまざまな職種の従事者や地域と情報を共有できる食介護実践者を養う。
 - ③ 加齢に伴う人体の構造と機能の変化について理解し、高齢者の自立や寝たきりの予防を目指した栄養・食事管理や食生活指導の技術力を養う。

3. 食環境の整備に対する理解力を持ち、健康・栄養教育に携わることのできる人材の育成を目指す。



II

健康栄養学部の教員構成

II. 健康栄養学部の教員構成

職名	氏名	専門分野 (科目区分)	主な担当科目
教授	植田 哲雄	臨床栄養学	臨床栄養学
教授	川村 美笑子	基礎栄養学、応用栄養学	栄養学
教授	佐藤 厚	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学
教授	逸見 幾代	栄養教育論	栄養教育
教授	村上 尚	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	人体の構造と機能
教授	渡邊 浩幸	食べ物と健康	食品学
教授	和田 安彦	社会・環境と健康	健康生態学・公衆衛生学
准教授	荒牧 礼子	公衆栄養学	公衆栄養学
講師	島田 郁子	給食経営管理論	給食経営管理
講師	西岡 道子	食べ物と健康	調理学
講師	廣内 智子	臨床栄養学	臨床栄養学臨地実習
講師	三木 章江	公衆栄養学	地域保健臨地実習
助教	田中 守	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学実験・基礎栄養学実験
助教	古川 弘子	臨床栄養学	臨床栄養学実習
助手	彼末 富貴	専門基礎分野	調理学実習
助手	川村 真美	専門基礎分野	食品学実験
助手	沼田 聡	給食経営管理論	給食経営管理実習



III

健康栄養学部 of 教育課程

Ⅲ－１．23年度開講科目

健康栄養学部 健康栄養学科		生活科学部 健康栄養学科	
科目名	担当者	科目名	担当者
1回生		3回生	
健康栄養学基礎	和田・渡邊・村上	医療統計学	和田・渡邊
健康栄養学応用	佐藤・川村	臨床検査医科学	和田安彦
保健医療福祉論	田中きよむ	臨床栄養学Ⅱ	植田哲雄
健康情報論実習	和田安彦	臨床栄養学Ⅲ	植田哲雄
生化学Ⅰ	佐藤厚	臨床栄養学実習Ⅰ	植田哲雄
人体の構造と機能Ⅰ	村上尚	臨床栄養学実習Ⅱ	植田哲雄
人体の構造と機能Ⅱ	村上尚	臨床栄養学臨地実習Ⅰ	植田哲雄
食品学	渡邊浩幸	臨床栄養学臨地実習Ⅱ	植田哲雄
食品学実験	渡邊浩幸	栄養カウンセリング論	逸見幾代
フードシステム学	前田幸二	栄養教育論実習Ⅰ	逸見幾代
調理学	川村美笑子	栄養教育論実習Ⅱ	逸見幾代
調理学実習Ⅰ	西岡道子	栄養情報処理論	荒牧礼子
調理学実習Ⅱ	西岡道子	総合演習（管理栄養士）	植田・逸見・ 荒牧・島田
基礎栄養学	川村美笑子	学校栄養指導論Ⅰ	逸見幾代
応用栄養学Ⅰ	川村美笑子	学校栄養指導論Ⅱ	逸見幾代
家族関係論	池添・益盛・ 畦地・瓜生	調理科学実験	西岡道子
2回生		給食経営管理実習	島田郁子
公衆衛生学	和田安彦	給食実務実習	島田郁子
こころと身体活動	網師本真季	給食経営管理臨地実習	島田郁子
生化学Ⅱ	佐藤厚	公衆栄養学	荒牧礼子
生化学実験	佐藤厚	地域保健実習	荒牧礼子
疾病論Ⅰ	村上尚	地域保健臨地実習	荒牧礼子
疾病論Ⅱ	村上尚	食事介護実習	島田・荒牧
運動生理学	大倉三洋	保育学	宮上・岡谷
生体科学実験・実習	村上尚	4回生	
食材学	渡邊浩幸	生活経営学	井本正人
食品の栄養素と機能	渡邊浩幸	卒業研究	学部教員
食品衛生学	渡邊・村上		
食品衛生学実験	渡邊・村上		
調理学実習Ⅲ	西岡道子		
基礎栄養学実験	川村美笑子		
応用栄養学Ⅱ	川村美笑子		
応用栄養学実習	逸見幾代		
ライフステージ栄養学	逸見幾代		
栄養教育論Ⅰ	逸見幾代		
臨床栄養学Ⅰ	植田哲雄		
公衆栄養学Ⅰ	荒牧礼子		
給食経営管理論	島田郁子		
給食計画論	島田郁子		
衣生活学	團野・川口		
服飾造形実習Ⅰ	川口順子		
住居学（製図を含む）	宇野浩三		
生活経営学（生活経済学を含む）	井本正人		

Ⅲ－2. 学生の研究

平成23（2011）年度 卒業研究題目

- 真空調理によるウルメイワシのビタミンB₁₂含量
（岡村 加奈子 調理学研究室）
- 各種加熱調理によるマルソウダに含まれるビタミンB₁₂の調理損失
（竹澤 京子 調理学研究室）
- 加熱調理によるキビナゴのビタミンB₁₂－ウォーターオープン加熱及びガス加熱の比較－
（竹村 仁美 調理学研究室）
- T市保育園における食物アレルギーの実態と今後の課題
（池 知美・三好 翔子 給食経営管理研究室）
- T市特別養護老人ホームにおける食肉品質改良剤使用の検討－喫食率の向上を目指して－
（田中 文美・宮崎 まどか 給食経営管理研究室）
- 養殖ブリの飼料組成が魚肉に及ぼす影響について
（麻植 美春 食品科学研究室）
- 各種魚肉中の成分の違いについて
（島 千晴 食品科学研究室）
- カカオ摂取が中枢神経系に及ぼす影響
（嶋本 有妃 食品科学研究室）
- 柑橘果汁搾汁後の残渣の有効利用について
（谷岡 幸穂 食品科学研究室）
- 光パルスによるサーカディアン・リズム調整のリセットが、植物体表現体および生成物に与える影響
（泉 奈央子 生化学研究室）
- 遺伝子組換え大豆の混入調査
（有岡 佐和・中島 伊織・山口 ゆり 病態学研究室）
- 高校男子サッカー選手における継続的な栄養指導介入の効果とその評価
（松村 美郷 臨床栄養学研究室）
- 医療機関における災害食の備蓄状況に関する調査
（川越 朱 臨床栄養学研究室）
- 噛みごたえのある食品のう歯予防効果と物性の評価
（中吉 有紗 健康生態学研究室）
- 被災地における感染症発生と水道復旧の状況、およびウェットティッシュによる手洗い効果の検証
（田邊 芽伊 健康生態学研究室）
- 紫外線殺菌灯の宿泊施設での使用実態と、調理場における衛生的効果の検証
（新田 知花 健康生態学研究室）

Ⅲ－3. 学外実習先一覧

平成23（2011）年度学外実習先一覧

種 類	実 習 名	実 習 先	実習期間	実習生 (名)
栄養教諭	学校栄養教育実習	南国市立岡豊小学校	平成23年6月6日(月)～ 6月17日(金)	2
		南国市立国府小学校	平成23年6月6日(月)～ 6月17日(金)	2
		香美市立大宮小学校	平成23年6月6日(月)～ 6月17日(金)	2
		香南市立赤岡小学校	平成23年6月13日(月)～ 6月24日(金)	2
		高知市立大津小学校	平成23年6月13日(月)～ 6月24日(金)	2
臨地実習 (公衆栄養)	地域公衆栄養学臨地実習	須崎福祉保健所	平成23年9月5日(月)～ 9月9日(金)	5
		安芸福祉保健所	平成23年9月5日(月)～ 9月9日(金)	6
		中央西福祉保健所	平成23年9月26日(月)～ 9月30日(金)	5
		中央東福祉保健所	平成23年9月26日(月)～ 9月30日(金)	6
臨地実習 (給食経営管理 給食の運営 臨床栄養)	給食経営管理臨地実習	高知医療センター	平成24年2月13日(月)～ 2月17日(金)	21
	臨床栄養学臨地実習Ⅰ		平成24年2月20日(月)～ 2月28日(火)	
	臨床栄養学臨地実習Ⅱ		平成24年2月29日(水)～ 3月6日(火)	



IV

学生の記録

Ⅳ－１．学生定員および出身県別在籍学生数

出身地	2011年度入学	2010年度入学	2009年度入学	2008年度入学生	計
	1回生(定員40名)	2回生(定員40名)	3回生(定員20名)	4回生(定員20名)	
北海道			1		1
群馬		1			1
千葉			1		1
富山			1		1
石川		1			1
静岡	2	2			4
愛知		1	1		2
三重	1	1			2
滋賀	2				2
京都	1				1
大阪				1	1
兵庫	1	4	1	1	7
和歌山	1	2		1	4
鳥取		1		1	2
島根	2	1		1	4
岡山			1		1
広島	3	1	2		6
山口	1	1	1		3
徳島		1	2	3	6
香川	1	1	1	1	4
愛媛	3	3	1	2	9
高知	19	11	5	7	42
福岡		1		2	3
佐賀	2		1		3
熊本		1	1		2
大分		1			1
宮崎	2	1	2	1	6
鹿児島		1			1
沖縄		3			3
計	41	40	22	21	124

IV-2. 入試状況の概要

平成21（2009）年度入試まで

（単位：名）

区分	募集 人数	内訳	平成19年			平成20年			平成21年		
			志願者数	合格者数	合格率	志願者数	合格者数	合格率	志願者数	合格者数	合格率
推薦	4	全体数	17	4	4.3	20	4	5	13	4	3.3
		(県内)	(17)	(4)	-	(20)	(4)	-	(13)	(4)	-
一般	16	全体数	76	18	4.2	51	19	2.7	57	20	2.9
		(県内)	(7)	(0)	-	(8)	(3)	-	(7)	(1)	-
		(県外)	(69)	(18)	-	(43)	(16)	-	(50)	(19)	-
計	20	全体数	93	22	4.2	71	23	3.1	70	24	2.9
		(県内)	(24)	(4)	-	(28)	(7)	-	(20)	(5)	-
		(県外)	(69)	(18)	-	(43)	(16)	-	(50)	(19)	-

平成22（2010）年度入試以降

（単位：名）

区分	募集 人数	内訳	平成22年			平成23年			平成24年		
			志願者 数	合格者 数	合格率	志願者 数	合格者 数	合格率	志願者 数	合格者 数	合格率
推薦	県内10 県外5	全体数	87	16	5.4	94	15	6.3	81	15	5.4
		(県内)	(21)	(10)	(2.1)	(33)	(10)	(3.3)	33	10	3.3
		(県外)	(66)	(6)	(11.0)	(61)	(5)	(12.2)	48	5	9.6
一般	25	全体数	85	28	3.0	105	29	3.6	93	31	3.0
		(県内)	(11)	(1)	－	(17)	(9)	－	(22)	7	－
		(県外)	(74)	(27)	－	(88)	(20)	－	(71)	24	－
計	40	全体数	172	44	3.9	199	44	4.5	174	46	3.8
		(県内)	(32)	(11)	－	(50)	(19)	－	(56)	(17)	－
		(県外)	(140)	(33)	－	(149)	(25)	－	(118)	(29)	－

* 健康栄養学部昇格に伴い、平成22（2010）年度入試より、定員が40名となりました。

アドミッションポリシー

健康栄養学部は、人間や健康、環境の本質を理解しながら、生命の源である「食」を探求し、人々が健康に生活できるよう幅広い分野で貢献できる人材を養成することを目的としています。健康栄養学部では、この目的の達成のため、次のような人を求めています。

1. 人間や健康、環境そして「食」に対して興味・関心の持てる人
2. 社会の一員であることを自覚し、他人の立場に立って考えることができる人
3. 物事に主体的かつ積極的に取り組む姿勢をもつ人
4. コミュニケーション能力がある人

IV-3. 卒業生の進路状況（就職状況）の概要

進路状況

(単位：名)

	平成19(2007)年度	平成20(2008)年度	平成21(2009)年度	平成22(2010)年度	平成23(2011)年度
卒業生数	23	21	21	20	21
就職	21	19	19	19	20
進学等	大学院 2	大学院 1	大学院 2	大学院 1	大学院 0
その他	0	1	0	0	就職希望なし 1

就職状況

平成17年度から過去6年間は、就職内定率100%です。管理栄養士の資格を生かした病院栄養士や栄養教諭、給食施設、福祉施設での仕事だけでなく、食料品製造、治験コーディネーターなど様々な職種に就いています。

平成21年度		平成22年度		平成23年度	
病院栄養士	5	病院栄養士	5	病院栄養士	3
栄養教諭	4	栄養教諭	2	栄養教諭	2
委託栄養士	3	委託栄養士	1	行政栄養士	2
行政栄養士	1	福祉栄養士	2	保育園栄養士	1
短期大学助手	1	-	-	-	-
食品製造	2	食品製造	2	食品製造	4
薬局	1	薬局	1	社会保険、産業福祉、 介護事業	4
飲食業	1	営業・販売	4	一般事務	2
販売	1	医薬情報担当者(MR)	1	宿泊業	1
-	-	社会保険、産業福祉、 介護事業	1	治験コーディネーター	1

IV－4. 国家試験の合格状況（平成23年度）

■第26回管理栄養士国家試験

実施日：平成24年3月18日(日)

合格発表：平成24年5月7日(月)

	受験者数(名)	合格者数(名)	合格率(%)
全国（全体）	21,268	10,480	49.3
全国（管理栄養士養成課程・新卒）	7,946	7,277	91.6
本学（新卒）	21	18	85.7

■国家試験対策（平成23年度の活動内容一覧）

4月	模擬試験実施日の案内
5月	合格発表に合わせて、手続き関連の連絡 合格率の公表
6月	模擬試験の開催：RDC（第1回目）
7月	模擬試験の開催：メディカRD（第1回目）
8月	模擬試験の開催：かんもし（プレテスト）
10月	模擬試験の開催：かんもし（第1回目）
11月	模擬試験の開催：RDC（第2回目）
12月	模擬試験の開催：メディカRD（第2回目）
1月	模擬試験の開催：RDC（第3回目） かんもし（第2回目） 国家試験対策講座 国家試験受験願書記入説明会 個別相談
2月	模擬試験の開催：メディカRD（第3回目） 個別相談
3月	直前サポート

Ⅳ－5. 学生を中心とした活動

「子育て支援イベントすこやか2011」に参加して

3回生 甲藤 亜紗実

2011年7月23、24日の2日間にわたり1～4回生が、高知ちばさんセンターで行われた「子育て支援イベントすこやか2011」に参加しました。健康栄養学部の参加は、2008年より4回目となります。今回、私たちはキッズランドにおいて子供たちとの交流や、新しい企画「職人体験」でのパフェ・和菓子作りのお手伝い、食育キッチンに参加しました。

食育キッチンでは、「子供たちが苦手とする野菜を好きになってもらおう！」をテーマとして、家庭で作れる野菜を使ったおやつを企画しました。今年は、ピーマンを使った「ピーパンケーキ」、野菜ジュースで簡単に作れる「もこもこベジパン」を実施しました。午前中に大学内にて下準備をしてから、会場である高知ちばさんセンターに向かいました。会場の食育キッチンのスペースで、子供たちに作ってみたいものを選んでもらい、楽しく料理ができるよう手助けをしながら一緒に作りました。野菜を使ったおやつなので、子供達に不評かなと思っていたましたが、作り終えた後で食べた感想を聞くと、「おいしい」「楽しかった」と言ってもらえました。「もう1回作りたい・食べたい！」といって2回も参加しに来てくださる親子や簡単に作れるおやつなので、レシピを持って帰って「家でも作ってみる」と言って下さる親子もいました。子供達が自分で作ったおやつを楽しく作り、笑顔で食べてもらえ、参加してのうれしさとやりがいを感じることができました。参加当初は、子供への接し方で戸惑いもありましたが、何組もの親子と一緒に作っていくうちに、自然と会話も弾み、私自身も楽しくこのイベントに参加できたと感じます。食を通じて親子と関わり、食育の面白さ・大変さを学べたことは大変貴重な経験となりました。



子供たちと一緒に折り紙を折ったり、お絵かきをしたり♪



ピーマン食べられるかな？



最後にみんなで記念撮影！

高知市中央卸売市場でのおさかな料理教室に参加して

3回生 里富 未桜

高知県が主催する「高知はおさかな天国キャンペーン」の一環として、昨年に引き続き、高知市中央卸売市場の市場の開放デイ（毎月第1土曜日）にあわせて行われる親子料理教室を健康栄養学科2、3回生が担当しました。9月は台風接近のため10月15日に延期になりましたが、平成23年8月から平成24年1月まで計6回の料理教室を行いました。毎回20名以上の親子が参加し、自分たちで考えた高知の魚や野菜を使った料理を一緒に作りました。料理に使用する食材はどれも新鮮なものばかりで、毎回捕れる魚も違うため、去年のレシピを参考にしながら魚料理を考えました。先生の意見を参考に毎回3品程度の料理を考え、何度か試作を繰り返し、レシピを決定しました。親子でできて、しかも、家庭でも実践できる簡単なメニューや調理方法を考えるのはとても難しく、みんなで試行錯誤を重ねながらなんとか無事に完成することができました。実際に料理教室で指導してみると、子どもの年齢に応じた指導方法の難しさや事前準備の大切さなどを実感しました。また、料理教室を行っている最中は無事に終わるのかどうかととても不安でした。しかし、子どもや保護者からの「美味しかった」「楽しかった」という一言で、料理教室に参加してよかったという達成感や満足感を得ることができました。何よりも参加してくれた親子の笑顔が料理教室の成功を示してくれました。この料理教室を通して、親子と一緒に作業することで、子どもの食に関する興味や知識・技術、保護者の食意識などを知ることができました。また、指導者という立場で料理教室に参加し、大学では学べない実践的な体験をすることができ、よい経験になりました。この貴重な経験を今後の大学生活に活かし、過ごしていきたいと思います。



調理（左）及び試食（右）風景



魚を使った料理

JICA 研修の国際プログラムに参加して

3回生 土田 千遥

JICA（国際協力機構）は青年海外協力隊を始め、発展途上国に対し、技術協力や資金協力を行っている日本の機関です。JICA の事業の一つに、海外から研修員を招き、大学などの研究機関で研修を行い、帰国後本国でその知識を活かし活躍してもらおうというものがあります。

2011年9月25日に私は高知県立大学で行われた JICA の Welcome パーティーにボランティアとして参加しました。これは管理栄養士の役割を海外の研修員の方に知ってもらおうという目的で行われたものです。コソボ、タイ、フィリピン、グレナダ、ソロモン諸島、ザンビア、スーダン、スワジランドから9名の方が来られていました。私は選んだ食事サンプルから栄養素量がすぐわかる SAT システムの説明を行いました。

昼食はゆずを使ったピラフや、なすの田楽、しいらのピカタなど高知県の食材をふんだんに使った料理をバイキング形式で提供し、一緒に食事をしました。私は英語がそんなに得意ではありませんが、一緒に食事をする事で「食」を通して交流できてとても楽しかったです。

午後からは体育館で高知大学と高知県立大学の学生が参加しているよさこいチームによるよさこい踊りの実演をしていただきました。その後、研修員の方も参加して皆で正調よさこい踊りを行いました。

この研修プログラムを通して、海外の方とコミュニケーションを図り、お互いの国についての理解を深めることができ、大変良い経験ができました。



SAT システム体験。選んだ食事は果たして？



高知の食材を使用した、学生による昼食提供



よさこい踊りの見学



みんなで記念撮影

子育て応援フォーラム2011に参加して

2回生 宮部 夏実

2011年10月23日にイオンモール高知で『こうち子育て応援フォーラム2011』が開催されました。私たちは「親子でスリム教室」に学生ボランティアとして参加しました。このスリム教室は食生活や体を動かすことで肥満の改善や予防をしていくことを目的としています。今回は、「よく噛んで食べ、食べたら消費！」ということテーマに行いました。対象となる子供たちの年齢が低かったので、童話の「ウサギとカメ」を改変し「ウサギとカメのごはんレース」という劇で、“よく噛むことと満腹感”について説明しました。少し難しい内容でしたが子供たちはお父さんやお母さんと熱心に話を聞いてくれました。そして普段食べているお菓子のカロリー当てクイズやそのお菓子のカロリーを消費するには、どれくらいの運動をしなければならないか実際に体験してもらいました。さまざまな運動を3分間行い、私たち学生はヘトヘトになってしまいましたが、子供たちは最後まで笑顔で元気いっぱい体を動かしていました。「家でもお母さんとやってみるね!」と言ってくれる子供もいてとても嬉しかったです。

準備段階では、どうやったら理解してもらえるか、どのくらいの運動ならできるかなど、子供たちの目線になって考えるのは難しかったです。しかし、一緒に参加した他の学生と意見を交換しながら企画を立てていくのは、自分一人では思いつかないような意見を聞くことができ、自分の中の物事を見る視野が広がったように思います。「親子でスリム教室」に参加し、とてもよい刺激を受けました。今回の経験が今後の学校生活に反映させていけるように頑張っていきたいです。



劇「ウサギとカメのごはんレース」の様子



リズムに合わせて、ジャンプしてハイタッチ!!



お菓子のカロリー当てクイズの様子

病院臨地実習を終えて

3回生 北添 晴香

私たち3回生は、2012年2月13日から3週間、高知医療センターにて臨地実習を行いました。実習初日のオリエンテーションでは、堀見病院長から高知医療センターの理念や概要について教えていただきました。その中で私が一番印象に残っているお話は、病院であっても帝国ホテルのようなサービスで患者さんに接することが大切であり、誰か1人の医療従事者が患者さんの気分を害するようなことがあれば、病院全体の評価が下がり、「100-1=99」ではなく、「0」になるという考え方です。この考え方はこれから社会に出て、会社や組織の一員として働いていく私たちにとって、とても参考になるものだと感じました。また、フロア実習では、実際に患者さんのベッドサイドまで行き、アセスメントの仕方を見学させていただいたり、NSTの回診に同行させていただいたりし、現場でしか味わえない緊張感や、チーム医療における管理栄養士としての役割について深く学ぶことができました。各階にある、パントリーでの実習では、主厨房で作られた食事を盛り付けし、食事箋を見ながら温冷配膳車に配る作業を担当させていただきました。ある階での実習で、昼食後の喫食率の調査をしている時でした。食事箋をよくみると、食事箋のあいたスペースに「ありがとう」という文字が書かれていました。その字は震えていて、力を振り絞って書いてくれたことが伝わってきました。その「ありがとう」と書かれた文字を見て、入院中の患者さんにとって食事がどれほど大切で、楽しい時間であるかということを感じると同時に、患者さんに心から感謝される仕事ができる病院の管理栄養士という仕事の素晴らしさを改めて感じることができました。今回の実習を通して、病院長のお話を始め、これから生きていく中で大切にしたいことをたくさん学ぶことができました。



堀見病院長へのご挨拶と講演後の記念写真



実習終了後のミーティング風景



外来栄養指導の講義風景

ちびっ子マラソン大会の食育イベントに参加して

2回生 永野 三奈美

2012年3月18日(日)、サニーマート・S & B杯「ちびっ子健康マラソン大会」で私たちは食育イベントに参加しました。食育イベントはマラソンの順番待ちをしている子供やマラソンを走り終えた子供を集め、ゲームを通して「食」に触れてもらうコーナーで、私たちはゲームを企画して実践しました。まず、私たちはどのようなことをしたら子供たちの興味を引くことができ、食につながるのかを考えました。クイズ形式であれば子供たちが楽しみながら参加できると考え、おさかなクイズをすることにしました。おさかなクイズは魚の写真を見て旬の時期やよく釣られる地域、新鮮なものの見分け方などをヒントとし、魚の名前を当てるクイズです。次に、普段の生活のような感覚でできると考えたのがお買い物ボードです。お買い物ボードはカレーや肉じゃがなどのメニューを1つ選び、調理に必要である食材を選ぶというゲームです。食材の絵が描かれた紙は裏向けにしてあり、食材についての情報(産地や旬の時期、食感など)をもとに食材を選びます。その他にもバナナについての紙芝居やジュース・清涼飲料水の中に含まれる糖分の量を当てるクイズ、似ている野菜を比較するゲームを行いました。短い期間、限られた時間でクイズやゲーム、紙芝居などの準備をすることは本当に大変でした。そして迎えた本番、用意したクイズや媒体を子供たちは楽しんでくれるのか不安だった私を笑顔に変えてくれたのは目を輝かせ、食育コーナーに足を運んでくれる子供たちでした。子供たちが楽しんで「食」に触れることができよかったです私は思いました。今回の食育イベントを通して、自分たちで考えた企画を実践し対象者に楽しんでもらう喜びを知りました。私たちがやりたいと提案したことを第一に力添えして下さったサニーマートの皆様に感謝しています。



間違わずに買えるかな？



なんて読むかわかるかな？



V

**教員の教育・研究・
地域貢献活動**

I. 教育活動

【学部】

- 臨床栄養学Ⅰ
- 臨床栄養学Ⅱ
- 臨床栄養学Ⅲ
- 臨床栄養学実習Ⅰ
- 臨床栄養学実習Ⅱ
- 臨床栄養学臨地実習Ⅰ
- 臨床栄養学臨地実習Ⅱ
- 総合演習（管理栄養士）（オムニバス）
- 卒業研究
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 委員会活動

1. 人権委員
2. 健康栄養学研究倫理専門審査委員（学部）
3. 管理栄養士国家試験対策委員（学部）
4. 臨地実習委員（学部）
5. 学部運営委員（学部）

I. 教育活動

【学部】

- 基礎栄養学
- 基礎栄養学実験
- 応用栄養学 I
- 応用栄養学 II
- 卒業研究
- 管理栄養士国家試験対策講座
- 栄養学（看護学部）

【大学院 人間生活学研究科（修士課程）】

- 人間生活論演習 I
- 人間栄養論 II
- 生活科学特別研究

【大学院 健康生活科学研究科（博士後期課程）】

- 栄養生理論
- 生活科学特別研究 I
- 生活科学特別研究 II
- 生活科学特別研究 III

II. 研究活動

1. 論文

- (1) 隅田道代, 宮川裕子, 山崎正雄, 川村美笑子: 働く人のメンタルヘルスの実態 – 高知県内市町村職員を対象にした意識調査の分析から –, 高知県立大学紀要 (健康栄養学部部編), 第61巻, pp. 47-57 (2011).
- (2) 水島直子, 川村美笑子: 急性期病院における糖尿病患者への栄養指導の解析 – 地域連携につなげるために –, 高知県立大学紀要 (健康栄養学部部編), 第61巻, pp. 25-32 (2011).
- (3) 徳広千恵, 川村美笑子: 学校給食関係者の地場産物活用に対する意識や行動に関する考察, 高知県立大学紀要 (健康栄養学部部編), 第61巻, pp. 9-17 (2011).

2. 学会発表

- (1) 徳広千恵, 北村和子, 川村美笑子: 学校給食関係者の地場産物活用に関する意識について, 第58回日本栄養改善学会学術総会 (広島 2011).

3. その他

【報告書等】

- (1) 平成23年度全国研究教育栄養士協議会中国・四国ブロック研修会報告書, 責任編集2011年12月

III. 委員会活動

1. 高知県立大学教育研究審議会委員
2. 高知県立大学入試委員会委員
3. 高知県立大学研究倫理審査委員会委員長
4. 高知県立大学大学院健康生活科学研究科（博士後期課程）科長, 大学院課程長兼務
5. 高知県立大学大学院見直し検討委員会委員長
6. 高知県立大学教員評価に関する検討委員会委員

7. 高知県立大学人権委員会委員
8. 健康栄養学部運営委員（学部）
9. 健康栄養学研究倫理専門審査委員（学部）

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養改善学会評議員・査読委員
2. 日本医学看護学教育学学会評議員
3. 日本微量栄養素学会評議員・査読委員
4. 日本健康・栄養システム学会評議員・評価委員・編集委員
5. ビタミンC研究委員会委員
6. 社団法人全国栄養士養成施設協会全国常任理事
7. 社団法人日本栄養士会全国研究教育栄養士協議会理事
8. 高知産業保健推進センター特別委員
9. 高知県農林業基本対策審議会特別委員
10. 高知県食の安全・安心推進協議会委員
11. 高知県食育推進協議会委員長

【講習会等】

1. 平成23年度教育職員免許状更新講習会（家庭科），高知県教育委員会，2011年8月
2. 平成23年度全国研究教育栄養士協議会中国・四国ブロック代表者会議及び研修会（企画・運営），2011年8月
3. 「保護者と共に取り組む食育とは～子どもの育ちを支える食生活のあり方～」，土佐市教育委員会，2011年11月
4. 「メンタルヘルスと食生活」，産業保健研修会（産業医認定講座），高知県産業保健推進センター，2011年5月
5. 「働く人の生命を支える食生活の在り方」，産業保健研修会，高知県産業保健推進センター，2011年11月，2011年12月

【新聞記事等】

1. 2011年2月から月1回連載（継続中）タイトル：『川村教授の「食事を自分の頭で考える大切さ」』高知新聞K+

【非常勤講師】

1. 高知大学医学部看護学科「食生活論」（2011年10月～12月）

V. 研究助成

該当事項なし

I. 教育活動

【学部】

- 生化学 I
- 生化学 II
- 応用栄養学
- 生化学（看護学部）
- 生化学実験

【大学院 人間生活学研究科（修士課程）】

- 人間生活情報論
- 健康栄養論 I
- 課題研究演習

【大学院 健康生活科学研究科（博士後期課程）】

- 臨床栄養論
- 生活科学特別研究 I
- 生活科学特別研究 II
- 生活科学特別研究 III

II. 研究活動

1. 論文

- (1) 元吉明, 明崎禎輝, 津野良一, 濱窪 隆, 岡 博人, 野村卓生, 佐藤 厚: 地域高齢者の運動促進を促す運動プログラムの考案. 理学療法科学, **24**(1), pp. 17-24 (2011).
- (2) 荒牧礼子, 廣内智子, 佐藤 厚: 日本食品成分表における野菜定義と喫食者における野菜認識の差異が野菜摂取に及ぼす影響. 日本栄養食糧学会誌, **64**(2), pp. 107-111 (2011).
- (3) 吉本好延, 三木章江, 浜岡克伺, 大山幸綱, 佐藤 厚: 救急搬送を伴った高齢者の転倒の実態調査－人口規模の検討－. 厚生指標, **58**(3), pp. 32-37 (2011).
- (4) 廣内智子, 荒牧礼子, 佐藤 厚: ベビーフードにおける欄外アレルギー表示の動向と問題点の検討. 病態学会誌, **14**(1), pp. 17-24 (2011).
- (5) 吉本好延, 浜岡克伺, 橋本豊年, 田中 守, 廣内智子, 佐藤 厚: 在宅高齢脳卒中患者の転倒恐怖感に関連する因子の検討－ソーシャルネットワークに着目して－. 高知県立大学健康栄養学部研究紀要, **61**, pp. 33-40 (2012).
- (6) 廣内智子, 田中 守, 島田郁子, 吉本好延, 佐藤 厚: 日本の公立大学における災害対策の現状. 日本公衆衛生雑誌, **59**, pp. 183-188 (2012).
- (7) 廣内智子, 田中 守, 佐藤 厚: 東日本大震災直前の自治体の災害時食糧備蓄の現状調査. 高知県立大学健康栄養学部研究紀要, **61**, pp. 1-8 (2012).

III. 委員会活動

1. 健康栄養学部長
2. 教育研究審議会
3. 高知女子大学研究倫理審査委員
4. 学部運営委員（学部）
5. 健康栄養学研究倫理専門審査委員（学部）

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 社団法人全国栄養士養成施設協会評議委員
2. 高知県よさこい健康プラン策定医院

I. 教育活動

【学部】

- 栄養教育論 I
- 栄養カウンセリング論
- 栄養教育論実習 I
- 栄養教育論実習 II
- ライフステージ栄養学
- 応用栄養学実習
- 総合演習（管理栄養士）（オムニバス）
- 学校栄養指導論 I
- 学校栄養指導論 II（オムニバス）
- 学校栄養教育実習

II. 研究活動

1. 著書

- (1) 逸見幾代, 佐藤香苗 編著: マスター栄養教育論, pp. 1-23, (2011), 建帛社, 東京.
- (2) 鴨原正世, 鈴木和枝, 逸見幾代, 渡邊智子 ほか著: 新・ライフステージの栄養学実習, pp. 67-105, (2011), ドメス出版, 東京.
- (3) 本田佳子 編著: 逸見幾代 ほか著: Trainee Guide 栄養食事療法の実習 栄養ケアマネジメント 第8版, pp. 107-109, pp. 140-143, (2011), 医歯薬出版, 東京.
- (4) 逸見幾代 編著: 知る! わかる! 身につく!! 公衆栄養学, pp. 1-25 (2012), 同文書院, 東京.

2. 論文

- (1) 西村栄恵, 逸見幾代, 土海一美: 青年成人期にある若年者の食生活調査 (第2報), 松山東雲短期大学研究論集, 42, pp. 33-39 (2011).

3. 学会発表

- (1) 逸見幾代, 吉村加奈, 越智泉, 越智美保, 西村栄恵, 斉藤功: 地域の健康づくりと保健事業からみた食習慣と生活習慣病の関連と予防 第2報-食育 SAT システムを活用して, 第57回日本栄養改善学会, 栄養学雑誌69, 5, (2011).
- (2) 吉村加奈, 斉藤功, 越智泉, 逸見幾代: 地域住民における緑黄色野菜摂取量とインスリン抵抗性の関連: 東温スタディー, 第57回日本栄養改善学会, 栄養学雑誌69, 5, (2011).
- (3) 西村栄恵, 逸見幾代, 土海一美: 青年成人期にある若年者の食生活調査~食育手法を検討するために~第2報, 第57回日本栄養改善学会, 栄養学雑誌. 69, 5, (2011).

III. 委員会活動

1. 学生委員
2. 教職課程専門委員

3. 学部運営委員（学部）

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養改善学会評議員
2. 愛媛県食の安全安心推進県民会議委員
3. 松山市社会教育委員
4. 愛媛県中山間地域等直接支払制度審議会委員
5. 愛媛県産業技術評価専門部会委員
6. 愛媛県漁区海区調整委員会委員
7. 特定健診保健指導 東温スタディー運営委員
8. 東温市食育推進計画策定委員
9. 愛媛大学大学院連合農学研究科特定研究員
10. 松山大学薬学部非常勤講師
11. 河原国際パティシエ・医療・観光専門学校非常勤講師

I. 教育活動

【学部】

- 人体の構造と機能 I
- 人体の構造と機能 II
- 疾病論 I
- 疾病論 II
- 健康栄養学基礎 (オムニバス)
- 食品衛生学 (オムニバス)
- 食品衛生学実験 (オムニバス)
- 生体科学実験・実習
- 卒業研究
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 委員会活動

1. 総合情報センター運営委員
2. 学部運営委員 (学部)

III. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本肥満学会評議員
2. 日本糖尿病学会会員
3. 日本生化学会会員
4. 日本分子生物学会会員

I. 教育活動

【学部】

- 食品学
- 食品衛生学 (オムニバス)
- 食品成分と疾病予防
- 食品の栄養素と機能
- 食材学
- 卒業研究
- 食品学実験
- 食品衛生学実験 (オムニバス)
- 医療統計学 (オムニバス)
- 健康栄養学基礎
- 管理栄養士国家試験対策講座

【大学院人間生活学研究科 (修士課程)】

- 人間生活論演習 I
- 食品総合科学論

II. 研究活動

1. 論文

- (1) N. Gotoh, D. Mashimo, T. Oka, K. Sekiguchi, M. Tange, **H. Watanabe**, N. Noguchi, S. Wada.: Analyses of marine-derived tocopherol in processed foods containing fish, Food Chemistry, **127**,(2), pp. 279-283 (2011).
- (2) N. Gotoh, Y. Matsumoto, T. Nagai, H. Mizobe, I. Otake, K. Ichioka, I. Kuroda, **H. Watanabe**, N. Noguchi and S. Wada, Actual ratios of triacylglycerol positional isomers consisting of saturated and highly unsaturated fatty acids in fishes and marine mammals, Food Chemistry, **129**(2), pp. 467-472 (2011).
- (3) K. Higashi, H. Kubo, **H. Watanabe**, K. Fujimori, T. Mikami, H. Kaneko., Adipokine ganglioside GM2 activator protein stimulates insulin secretion., FEBS Lett., **585**(16), pp. 2587-91(2011).

2. 学会発表

- (1) **渡邊浩幸**, 岩佐千絢, 川村真美, 野中翔太, 奥原康英, 伊藤幸彦, 喜瀬光男: 高脂肪食負荷マウスに対する発芽玄米由来植物ステロール配糖体の効果, 第65回日本栄養・食糧学会大会, (東京 2011).
- (2) **渡邊浩幸**, 岩佐千絢, 川村真美, 野中翔太, 奥原康英, 伊藤幸彦, 喜瀬光男: 高脂肪食負荷マウスに対する発芽玄米由来植物ステロール配糖体の効果(2), 日本脂質栄養学会第20回大会, (坂戸 2011).
- (3) **渡邊浩幸**, 川村真美, 野中翔太, 伊藤幸彦, 奥原康英, 喜瀬光男: 高脂肪食誘導性うつ様行動への TNF α の関与と発芽玄米由来ステロール配糖体 (PSG) の効果, 第32回日本肥満学会, (淡路島 2011).
- (4) **渡邊浩幸**, 川村真美, 野中翔太, 伊藤幸彦, 奥原康英, 喜瀬光男: 高脂肪食誘導性うつ様行動への TNF α の関与と発芽玄米由来ステロール配糖体 (PSG) の効果(2), 第44回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, (総社 2011).

3. その他

- (1) 徳島県栄養士会研究教育協議会，学校研究教育協議会，集団健康管理協議会講演「食品の機能性」渡邊浩幸，徳島，2011年10月30日
- (2) 油化学シンポジウム，「いまさら聞けない機能性食品」渡邊浩幸，高知，2011年11月9日
- (3) 第4回「食と健康」医農工連携人材育成事業講座，「食品の生体調節機能とトクホー発足から20年を振り返って－」渡邊浩幸，高知，2011年12月2日

Ⅲ. 委員会活動

1. 国際交流委員
2. 学部運営委員（学部）
3. 学年担当（平成20年度入学生）

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 社団法人日本栄養食糧学会代議員
2. 社団法人日本脂質栄養学会評議員
3. 日本肥満学会会員
4. 日本食品科学工学会会員
5. 土佐フードビジネスクリエーター（FBC）人材創出 講義担当
6. 高知県食品産業研究会チーフアドバイザー

Ⅴ. 研究助成

【学外】

1. 株式会社ファンケル奨学寄付金：平成23年度「慢性炎症反応が行動に及ぼす影響の解明と改善方法の探索」
2. 高知県産学官連携産業創出研究推進事業「県産未利用有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築化モデル」

I. 教育活動

【学部】

- 臨床検査医科学
- 健康栄養学基礎（オムニバス）
- 医療統計学（オムニバス）
- 健康情報論実習
- 公衆衛生学
- 卒業研究
- 管理栄養士国家試験対策講座
- 総合演習（栄養教諭）（オムニバス）

II. 研究活動

1. 論文

- (1) Ehab S. Eshak, Hiroyasu Iso, Chigusa Date, Kazumasa Yamagishi, Shogo Kikuchi, Yoshiyuki Watanabe, **Yasuhiko Wada**, Akiko Tamakoshi, and JACC Study Group: Rice Intake Is Associated with Reduced Risk of Mortality from Cardiovascular Disease in Japanese Men but Not Women. *J Nutr.* **141**, pp. 595-602 (2011).
- (2) Akio Koizumi, Kouji H. Harada, Tamon Niisoe, Ayumu Adachi, Yukiko Fujii, Toshiaki Hitomi, Hatasu Kobayashi, **Yasuhiko Wada**, Takao Watanabe and Hirohiko Ishikawa: Preliminary assessment of ecological exposure of adult residents in Fukushima prefecture to radioactive cesium through ingestion and inhalation. *Environ Health Prev Med*, Online First, 10.1007/s12199-011-0251-9 (2011).
- (3) Eri Eguchi, Hiroyasu Iso, Naohito Tanabe, **Yasuhiko Wada**, Hiroshi Yatsuya, Shogo Kikuchi, Yutaka Inaba and Akiko Tamakoshi on behalf of the Japan Collaborative Cohort Study Group: Healthy lifestyle behaviours and cardiovascular mortality among Japanese men and women: the Japan collaborative cohort study. *Eur Heart J*, **33**, pp. 467-477 (2012).

2. 学会発表

- (1) 新田知花, 田邊芽伊, 中吉有紗, 古川弘子, **和田安彦**: 給食施設における室内紫外線殺菌灯の衛生的効果の検証, 第57回四国公衆衛生学会総会, (徳島 2012).
- (2) 田邊芽伊, 中吉有紗, 新田知花, 古川弘子, **和田安彦**: ATP ふき取り検査法を用いたウェットティッシュの手洗い効果, 第57回四国公衆衛生学会総会, (徳島 2012).
- (3) 中吉有紗, 新田知花, 田邊芽伊, 古川弘子, **和田安彦**: 噛みごたえのある食品のう蝕予防効果の検討, 第57回四国公衆衛生学会総会, (徳島 2012).
- (4) **和田安彦**, 小泉昭夫, 原田浩二, 新添多聞, 足立歩, 藤井由希子, 人見敏明, 小林果, 渡辺孝男, 石川裕彦: 福島県成人住民の, 食事・大気由来の放射性セシウムによる内部被曝の評価, 第82回日本衛生学会学術総会 緊急災害企画シンポジウム「福島原発事故における被曝の現状と今後を考える - 衛生学の貢献 -」, (京都 2012).

- (5) 藤井由希子, 原田浩二, 新添多聞, 足立歩, 人見敏明, 小林果, 和田安彦, 渡辺孝男, 石川裕彦, 小泉昭夫: 福島県産野菜・牛乳の放射性セシウム測定, 第82回日本衛生学会学術総会, (京都 2012).
- (6) 足立歩, 藤井由希子, 人見敏明, 小林果, 原田浩二, 小泉昭夫, 和田安彦, 渡辺孝男, 石川裕彦: 福島県成人住民の食事を介した放射性セシウムによる内部被曝の評価, 第82回日本衛生学会学術総会, (京都 2012).
- (7) 和田安彦, 古川弘子, 松永仁恵, 田部勝也, 谷澤幸生: Wolfram 症候群の全国頻度調査と患者家族が必要としている社会的支援, 第82回日本衛生学会学術総会, (京都 2012).
- (8) 古川弘子, 中吉有紗, 稲貝知奈, 新田知花, 田邊芽伊, 和田安彦: 嘔みごたえのある食品が口腔衛生に及ぼす効果, 第82回日本衛生学会学術総会, (京都 2012).

3. その他

【報告書】

- (1) 和田安彦: Wolfram 症候群の実態調査に基づく早期診断法の確立と診療指針作成のための研究, 平成22年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 分担研究報告書, pp. 13-15 (2011)

【雑誌】

- (1) 和田安彦, 古川弘子, 谷澤幸生: ウォルフラム症候群の患者さんへ, もしくは未だ診断されていない方へー同じ病気を持つ人々の結集に向けて. 社会福祉法人全国盲ろう者協会 専門誌「コミュニケーション」, No. 43, pp. 63-66 (2011).

Ⅲ. 委員会活動

1. 健康管理センター運営委員
2. 学部運営委員 (学部)
3. 学年担当 (平成22年度入学生)
4. 入試実施委員

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本衛生学会評議員
2. 日本衛生学会英文誌 Environmental Health and Preventive Medicine 編集委員
3. 日本職業・災害医学会評議員
4. 日本産業衛生学会代議員

【講演等】

1. オープンキャンパス健康生態学研究室企画「震災支援～ウェットティッシュによる手洗いの効果 (ATPふきとり検査)」, 2011年7月31日

【新聞報道等された社会貢献】

1. 京大, 福島県成人住民の放射性セシウム内部被曝量を推計 - 基準値以下と結論, マイナビ

ニュース, 2011年11月18日

2. 福島で食事「内部被曝わずか」京大教授ら調査 新規制値の0.3%, 読売新聞, 2012年3月28日

V. 研究助成

【学外】

1. 平成23年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業「Wolfram 症候群の実態調査に基づく早期診断法の確立と診療指針作成のための研究」(H22-難治-一般-102) (分担研究者)
2. 平成23年度厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業「大規模コホート共同研究の発展による危険因子管理の優先順位の把握と個人リスク評価に関するエビデンスの構築」(研究協力者) (文部省がんコホート研究: JACC Study 班員)

I. 教育活動

【学部】

- 公衆栄養学
- 地域栄養アセスメント
- 地域公衆栄養学実習
- 地域公衆栄養学臨地実習
- 栄養情報処理論
- 食事介護実習（オムニバス）
- 総合演習（管理栄養士）（オムニバス）
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

1. 論文

- (1) 荒牧礼子, 廣内智子, 佐藤厚: 日本食品標準成分表における野菜定義と喫食者における野菜認識の差異が野菜摂取量把握に及ぼす影響, 日本栄養・食糧学会誌, **64**(2), pp.107-111 (2011).
- (2) 廣内智子, 荒牧礼子, 佐藤厚: 菓子類と麺類における欄外アレルギー表示の現状－チョコレートとインスタントラーメンの比較及び今後の課題－, 日本病態栄養学会雑誌, **14**(4), pp.301-307 (2011).

2. 学会発表

- (1) 荒牧礼子, 佐藤厚: 料理書籍の年次推移からみた食生活スタイルの検討－明治期の料理書籍を中心として－, 第70回日本公衆衛生学会総会, (秋田 2011).
- (2) 荒牧礼子, 佐藤厚: Web 上における食物アレルギーに関する情報の検討, 第70回日本公衆衛生学会総会, (秋田 2011).
- (3) 荒牧礼子, 佐藤厚: 明治期における料理書籍数から見た食生活スタイル変容－西洋料理の受容過程を通して－, 第57回四国公衆衛生学会総会, (徳島 2011).

III. 委員会活動

1. 入試実施委員
2. 健康栄養学研究倫理専門審査委員 (学部)
3. 臨地実習委員長 (学部)

IV. 社会的活動

【出前講座】

1. 日本野菜ソムリエ協会 野菜ソムリエ養成講座 講義担当
2. 地域雇用創出推進協議会 特別講座 講義担当

【講演】

1. ベジフルメンバーズクラブ講座「科学報告の読み方，情報の伝え方」講師，2011年12月20日
2. ベジフルメンバーズクラブ講座「栄養疫学とプレゼンテーションの仕方」講師，2012年3月9日
3. 地域雇用創出推進講座 講師，2011年10月17日，土佐市

I. 教育活動

【学部】

- 給食経営管理論
- 給食計画論
- 給食経営管理実習
- 管理栄養士総合演習Ⅰ（オムニバス）
- 管理栄養士総合演習Ⅱ（オムニバス）
- 給食経営管理臨地実習
- 卒業研究
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

1. 論文

- (1) 島田郁子, 谷口茉耶, 宇賀玲実, 沼田聡: 豚肉を用いた肉軟化調味料および食肉品質改良剤の比較検討, 高知県立大学紀要健康栄養学部編, 第61巻, pp.41-46 (2011).

2. 学会発表

- (1) 島田郁子, 沼田聡, 池知美, 田中文美, 宮崎まどか, 三好翔子, 幾井康仁, 中山泰弘: 産官学連携産業振興につなげるゆずを使用した料理・お菓子の開発 (第1報), 第7回 日本給食経営管理学会, (東京 2011).
- (2) 島田郁子, 谷口茉耶, 田中文美, 宮崎まどか, 池知美, 三好翔子, 沼田聡: 豚肉を用いた肉軟化調味料および食肉品質改良剤の比較検討, 第7回 日本給食経営管理学会, (東京 2011).
- (3) 沼田聡, 島田郁子: 授業アンケートを活用した実践的な給食経営管理実習の内容検討, 第7回 日本給食経営管理学会, (東京 2011).
- (4) 廣内智子, 島田郁子, 田中守, 佐藤厚: 公立大学における災害対策の現状, 第70回日本公衆衛生学会, (秋田 2011).

III. 委員会活動

1. 学部教務委員長
2. 臨地実習委員 (学部)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 土佐市社会福祉事業団理事
2. 香美市産官学連携産業振興支援会議ワーキンググループ, 2011年3月～
3. RKC 高知放送主催「子育て応援団すこやか2011」参加, 高知ちばさんセンター, 2011年7月23日～24日
4. 高知県栄養士会主催「栄養ケアステーション事業 (栄養相談)」参加, 土佐山田バリュー店,

2011年8月17日

5. 高知県園芸連主催 高知野菜 Cooking スクール参加, 高知ちばさんセンター, 2012年2月5日
6. 高知県立大学公開講座「きたるべき南海地震に備え, 今すべき食生活支援とは」司会, 高知かるぽーと, 2012年3月5日

【講習】

1. 文部科学省 教職更新講習 家庭科担当, 家庭科教育の充実と「衣・食・住」のこれから, 高知県立大学, 2011年8月20日

【講演】

1. 衛生管理研修 「食中毒について」 講演者 土佐市特別養護老人ホームとさの里, 土佐市, 2011年7月15日
2. 香川県中讃保健福祉事務所 給食施設管理者等研修会 (病院給食管理者向) 講演者 「給食施設における災害備蓄」, 香川県丸亀市, 2011年8月31日
3. 香川県中讃保健福祉事務所 給食施設管理者等研修会 (介護老人保健施設・老人福祉施設・社会福祉施設給食管理者向) 講演者 「給食施設における災害備蓄」, 香川県丸亀市, 2011年9月5日
4. NPO 法人アジア運動栄養健康科学研究所設立記念第11回ダンベル体操国際シンポジウム 発表者「高知県立大学からの東北震災地への派遣 災害支援活動について (日本栄養士会)」, 東京都品川区, 2011年9月17日
5. 高知県栄養士会生涯学習「高知県立大学からの東北震災地への派遣」講演者, 高知市, 2011年12月17日
6. 高知県栄養士会主催 行政・研究教育栄養士協議会 「災害支援活動から考える管理栄養士養成」 講演者, 高知市あんしんセンター, 2012年3月10日
7. 高知県立大学健康栄養学部 リカレント講座「こんな嚙下食知ってますか?」 講演者, 高知県立大学, 2012年3月24日

【その他】

1. 国際交流活動: マレーシアサバ大学 (University Malaysia Sabah) 食品科学・栄養学部学部長 Dr. Sharifudin 氏アテンドおよび国際交流活動について協議 2012年3月25日~28日

I. 教育活動

【学部】

- 調理学
- 調理学実習 I
- 調理学実習 II
- 調理学実習 III
- 調理科学実験
- 食の科学（オムニバス）
- 卒業研究
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

1. 論文

- (1) **M. Nishioka**, F. Kanosue, Y. Yabuta and F. Watanabe : Loss of Vitamin B₁₂ in Fish (Round Herring) Meats during Various Cooking Treatments. *J. Nutr. Sci. Vitaminol.*, **57**, pp.432-436 (2011).

2. 学会発表

- (1) **西岡道子**, 彼末富貴, 渡辺文雄：うるめいわしにおけるビタミンB₁₂の調理損失, 第44回日本栄養・食糧学会 中国・四国支部大会, (岡山 2011).

III. 委員会活動

入試監査委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 社団法人高知県栄養士会会員
2. NPO 法人食生態学実践フォーラム会員

I. 教育活動

【学部】

- 臨床栄養学実習 I
- 臨床栄養学実習 II
- 臨床栄養学臨地実習 I
- 臨床栄養学臨地実習 II
- 総合演習（管理栄養士）
- 卒業研究
- 健康教育講座（オムニバス）
- 高知短期大学1日授業（オムニバス）
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

1. 論文

- (1) 廣内智子, 荒牧礼子, 佐藤厚: ベビーフードにおける欄外アレルギー表示の動向と問題点の検討, 日本病態栄養学会誌, **14**(1), pp.17-24 (2011).
- (2) 荒牧礼子, 廣内智子, 佐藤厚: 日本食品標準成分表における野菜定義と喫食者における野菜認識の差異が摂取野菜量把握に及ぼす影響, 日本栄養・食糧学会誌, **64**(2), pp.107-111 (2011).
- (3) 廣内智子, 荒牧礼子, 佐藤厚: 菓子類と麺類における欄外アレルギー表示の現状－チョコレートとインスタントラーメンの比較及び今後の課題－, 日本病態栄養学会誌, **14**(4), pp.301-307 (2011).
- (4) 廣内智子, 田中守, 島田郁子, 吉本好延, 佐藤厚: 日本の公立大学における災害対策の現状, 日本公衆衛生学会誌, **59**(3), pp.183-188 (2012).
- (5) 廣内智子, 田中守, 佐藤厚: 東日本大震災発生直前の自治体の災害時食糧備蓄の現状調査, 高知県立大学紀要, **61**, pp.1-8 (2012).
- (6) 吉本好延, 浜岡克伺, 橋本豊年, 田中守, 廣内智子, 佐藤厚: 在宅高齢脳卒中患者の転倒恐怖感に関連する因子の検討－ソーシャルネットワークに着目して－. 高知県立大学健康栄養学部研究紀要, **61**, pp.1-8 (2012).
- (7) 廣内智子: 東日本大震災が自治体の食糧備蓄体制に与えた影響, 高知県立大学大学院修士論文 (2012).

3. 学会発表

- (1) 廣内智子, 島田郁子, 佐藤厚: 自治体における災害時の栄養・食生活支援の対応について, 第56回四国公衆衛生学会総会, (香川 2011).
- (2) 廣内智子, 島田郁子, 田中守, 佐藤厚: 公立大学における災害対策の現状, 第70回日本公衆衛生学会, (秋田 2011).
- (3) 西内章, 山中福子, 廣内智子, 宮武陽子: 第4回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, (神奈川 2011).

- (4) 廣内智子, 田中守, 佐藤厚: 東日本大震災が自治体の災害時の食生活支援体制に与えた影響について, 第15回日本病態栄養学会, (京都 2012).
- (5) 廣内智子, 田中守, 佐藤厚: 自治体における災害時要援護者への食支援について, 第57回四国公衆衛生学会総会, (徳島 2012).
- (6) 田中守, 廣内智子, 島田郁子, 吉本好延, 佐藤厚: 公立大学における災害対策の現状, 平成23年度四国公衆衛生研究発表会, (徳島 2011).

4. その他

【雑誌】

- (1) 東日本大震災災害支援活動報告書: 栄養土佐はちきん, 第32回 p. 8, 2012

【報告書】

- (1) 南海地震時の避難生活を支える災害食について: 高知女子大学大学院公開講座記念誌, 2011. 3. 3, 講演者 (濱口ゆう子, 大村誠, 島田郁子, 廣内智子)
- (2) 健康長寿と人間尊厳のまちづくり・高知: 高知女子大学 IPE プロジェクト委員会活動報告書, 2011, (宮武陽子, 西内章, 山中福子, 廣内智子)
- (3) きたるべき南海地震に備え, 今すべき食生活支援とは?: 高知県立大学健康栄養学部・高知県立大学災害対策プロジェクト公開講座記念誌, (佐藤重樹, 栗木成治, 廣内智子) 2012年3月

Ⅲ. 委員会活動

1. 教務委員 (共通教育専門委員)
2. IPE プロジェクト委員
3. 健康長寿委員
4. 管理栄養士国家試験対策委員 (学部)
5. 臨地実習委員 (学部)

Ⅳ. 社会的活動

1. 日本静脈栄養学会会員
2. 日本臨床栄養学会会員
3. 日本病態栄養学会会員
4. 日本栄養改善学会会員
5. 日本公衆衛生学会会員
6. 日本栄養・食糧学会会員
7. 日本咀嚼学会会員
8. 日本重症心身障害学会会員
9. 2011年6月6～10日: 東日本大震災・食生活支援活動 (宮城県石巻市)

【講演】

1. 高知市教育委員会学校給食部会 夏の1日研修「災害と食に関すること」講師, (高知学園短期大学), 2011年8月8日
2. 高知県立大学健康長寿出前講座「認知症を予防する食事」講師, (須崎市), 2011年10月1日

3. 高知県栄養士会生涯学習研修会「自治体および教育機関における備蓄食料に関する調査について」講師（高知県総合保健協会），2011年12月7日
4. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会事業公開講座「自治体の災害食備蓄状況」講師，高知県立大学，2012年2月18日
5. 高知県立大学健康栄養学部・高知県立大学公立大学法人災害対策プロジェクト県民公開講座「きたるべき南海地震に備え，今すべき食生活支援とは？」講師「東日本大震災を機に見直された全国自治体の食糧備蓄体制の現状」高知かるぽーと，2012年3月3日
6. 行政・研究教育栄養士協議会 合同研修会「自治体の食糧備蓄に関する全国調査について」講師（総合あんしんセンター），2012年3月10日
7. 高知県立大学健康栄養学部リカレント教育講座補助「こんな嚙下食ご存知ですか？」，高知県立大学，2012年3月24日

I. 教育活動

【学部】

- 地域保健実習
- 地域保健臨地実習
- 食事介護実習
- 総合演習
(管理栄養士)
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

1. 学会発表

- (1) 畑山知子, 三木章江, 山下扶美: 大学生の体育授業における食の学習プログラムの検討, 第58回日本栄養改善学会学術総会, (広島 2011).

III. 委員会活動

1. 地域創成センター推進委員
2. 入試監査委員
3. 臨地実習委員 (学部)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 社団法人高知県栄養士会会員
2. 高知県小・中・高・大 家庭科教育連合会理事

I. 教育活動

【学部】

- 生化学実験
- 基礎栄養学実験
- 卒業研究
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

1. 論文

- (1) Tanaka M, Nagano T, Yano H, Matsuda T, Ikeda T, Haruma K and Kato Y: Impact of ω -5 gliadin on wheat-dependent exercise-induced anaphylaxis in mice, *Bioscience Biotechnology and Biochemistry*, **75**, pp. 313-317 (2011).
- (2) 田中 守, 矢野博己, 山田作夫, 長野隆男: グリアジン経口投与が小麦依存性運動誘発アナフィラキシーに与える影響, *川崎医療福祉学会誌*, **20**, pp. 397-404 (2011).
- (3) 田中 守, 山田作夫, 長野隆男: B10. Aマウスを用いた小麦依存性運動誘発アナフィラキシーモデル系の作成, *川崎医療福祉学会誌*, **20**, pp. 405-410 (2011).
- (4) Tanaka M, Nagano T, Yano H, Haruma K and Kato Y: Exercise-independent wheat-induced anaphylaxis caused by ω -5 gliadin in mice, *International Archives of Allergy and Immunology*, **156**, pp. 434-442 (2011).
- (5) 廣内智子, 田中 守, 佐藤 厚: 東日本大震災直前の自治体の災害時食糧備蓄の現状調査. 高知県立大学健康栄養学部研究紀要, **61**, pp. 1-8 (2012).
- (6) 吉本好延, 浜岡克伺, 橋本豊年, 田中 守, 廣内智子, 佐藤 厚: 在宅高齢脳卒中患者の転倒恐怖感に関連する因子の検討—ソーシャルネットワークに着目して—. 高知県立大学健康栄養学部研究紀要, **61**, pp. 33-40 (2012).
- (7) 廣内智子, 田中 守, 島田郁子, 吉本好延, 佐藤 厚: 日本の公立大学における災害対策の現状. *日本公衆衛生雑誌*, **59**, pp. 183-188 (2012).

2. 著書

- (1) 山田耕路編, 田中 守他: 食と健康を支援する 第2集 (共著) 第11章 小麦 ω -5グリアジンが食物依存性運動誘発アナフィラキシーに与える影響, 生物機能研究所, pp. 129-140 (2012)

3. 学会発表

- (1) Okamoto T, Tanaka M, Nagano T, Tanimoto Y: Effects of peptides derived from casein on degranulation in rat basophilic leukemia RBL-2H3 cells, ICoff (Taipei 2011).
- (2) 廣内智子, 田中 守, 島田郁子, 吉本好延, 佐藤 厚: 公立大学における災害対策の現状, 第70回日本公衆衛生学会 (秋田 2011).
- (3) 岡本威明, 田中 守, 長野隆男, 谷本泰正: カゼイン由来ペプチドがラット好塩基球様細胞株 (RBL-2H3) の脱顆粒に及ぼす影響, 第84回日本生化学会大会 (京都 2011).

- (4) 田中 守，廣内智子，島田郁子，吉本好延，佐藤 厚：公立大学における災害対策の現状，平成23年度四国公衆衛生研究発表会（徳島 2011）。
- (5) 廣内智子，田中 守，佐藤 厚：自治体における災害時要援護者への食支援について，平成23年度四国公衆衛生研究発表会（徳島 2011）。

4. その他

【雑誌】

- (1) 東日本大震災災害支援活動報告書：栄養土佐はちきん，第32回pp.11，2012

Ⅲ. 委員会活動

- (1) 健康長寿委員
- (2) 土佐市連携プロジェクトメンバー

Ⅳ. 社会的活動

1. 社会貢献活動

- (1) 日本栄養食糧学会会員
- (2) 日本食品科学工学会会員
- (3) 日本公衆栄養学会会員
- (4) 生物機能研究所会員
- (5) 川崎医療福祉学会会員

2. 出前講座

- (1) 高知県立大学健康長寿体験型セミナー「認知症予防のために」（永国寺町），2011年6月25日
- (2) 高知県立大学健康長寿体験型セミナー「認知症予防のために」（土佐市），2012年1月21日

3. 講演

- (1) 大学出前講義「コレステロールのお話～体に良い，悪いコレステロール知っていますか？～」講師，高知県立高知小津高等学校，2011年6月30日
- (2) 高知県立大学健康長寿出前講座「認知症を予防する食事」講師，（須崎市），2011年10月1日
- (3) 高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会事業公開講座「食の安全性－正しい食生活をおこなうために－」講師，高知県立大学，2012年2月18日
- (4) 高知県立大学健康栄養学部・高知県立大学公立大学法人災害対策プロジェクト公開講座補助「きたるべき南海地震に備え，今すべき食生活支援とは？」，高知かるぽーと，2012年3月3日
- (5) 高知県立大学健康栄養学部リカレント教育講座補助「こんな嚙下食ご存知ですか？」，高知県立大学，2012年3月24日

4. その他

【新聞記事等】

- (1) 毎日新聞，「意識薄い大学」2011年5月25日
- (2) 高知新聞，「治ったら，これが食べたい！」2012年2月11日

【その他】

- (1) 東日本大震災・食生活支援活動（岩手県山田町），2011年7月6日～7月8日
- (2) 高知医療センター・高知県立大学包括連携協議会健康栄養連携部会「カレンダー作成」

I. 教育活動

【学部】

- 健康情報論実習
- 臨床栄養学実習 I
- 臨床栄養学実習 II
- 臨床栄養学臨地実習 I
- 臨床栄養学臨地実習 II
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

1. 論文

- (1) **Furukawa H**, Mawatari K, Koyama K, Yasui S, Morizumi R, Shimohata T, Harada N, Takahashi A, Nakaya Y: Telmisartan increases localization of glucose transporter 4 to the plasma membrane and increases glucose uptake via peroxisome proliferator-activated receptor γ in 3T3-L1 adipocytes. *Eur J Pharmacol.* **25**; **660**(2-3): pp. 485-491 (2011).
- (2) Sonoko Yasui, Kazuaki Mawatari, Ran Morizumi, **Hiroko Furukawa**, Takaaki Shimohata, Nagakatsu Harada, Akira Takahashi, Yutaka Nakaya: Hydrogen peroxide inhibits insulin-induced ATP-sensitive potassium channel activation independent of insulin signaling pathway in cultured vascular smooth muscle cells. *J Med Invest.* **59**(1-2): pp. 36-44 (2012).

2. 学会発表

- (1) **古川弘子**:「親子でスリム教室」開催から見えてきたこと, 第55回高知県家庭科教育連合会研究大会, (高知 2011).
- (2) 和田安彦, **古川弘子**: 給食施設における紫外線室内殺菌灯の危険な使用実態, 第55回 中国四国合同産業衛生学会, (高知 2011).
- (3) 田邊芽伊, 中吉有紗, 新田知花, **古川弘子**, 和田安彦: ATP ふき取り検査法を用いたウエットティッシュの手洗い効果, 第57回四国公衆衛生学会総会・平成23年度四国公衆衛生研究発表会, (徳島 2012).
- (4) 新田知花, 田邊芽伊, 中吉有紗, **古川弘子**, 和田安彦: 給食施設における室内紫外線殺菌灯の衛生的効果の検証, 第57回四国公衆衛生学会総会・平成23年度四国公衆衛生研究発表会, (徳島 2012).
- (5) 中吉有紗, 新田知花, 田邊芽伊, **古川弘子**, 和田安彦: 噛みごたえのある食品のう蝕予防効果の検討, 第57回四国公衆衛生学会総会・平成23年度四国公衆衛生研究発表会, (徳島 2012).
- (6) **古川弘子**, 中吉有紗, 稲貝知奈, 新田知花, 田邊芽伊, 和田安彦: 噛みごたえのある食品が口腔衛生に及ぼす効果, 第82回日本衛生学会, (京都 2012).

3. その他

【雑誌】

- (1) 和田安彦, 古川弘子, 谷澤幸生: ウォルフラム症候群の患者さん, もしくは未だ診断されていない方へー同じ病気を持つ人々の結集に向けて, コミュニカ, (43), pp. 63-66 (2011).
- (2) 細川公子, 古川弘子, 岡田泰助: 糖尿病をもつ子どもの食事療法の変化と食育の重要性, 小児看護, 第35巻第2号, pp. 177-184 (2012).

Ⅲ. 委員会活動

1. 紀要編集委員
2. 全学 FD 委員
3. 臨地実習委員
4. 管理栄養士国家試験対策委員
5. 学年担当 (平成22年度入学生)

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 高知県小児糖尿病生活指導講習会 (サマーキャンプ) スタッフ
2. 親子でスリムキャンプ, フォローアップ企画運営
3. Prader-willi症候群 (PWS) 親子の会 企画運営
4. 東日本大震災災害支援 (気仙沼) (日本栄養士会による派遣活動)
5. 南国市食育推進委員
6. 日本糖尿病協会 小児2型糖尿病対策事業『お子さんと一緒に スリム・ミニキャンプ』
7. こうち子育て応援フォーラム2011『親子でスリム教室』
8. 社団法人高知県栄養士会会員
9. 社団法人日本栄養士会会員
10. 日本栄養改善学会会員
11. 日本臨床栄養学会会員
12. 日本病態栄養学会会員
13. 社団法人日本糖尿病協会会員
14. 社団法人日本栄養・食糧学会会員
15. 日本発達障害学会会員
16. 日本衛生学会会員

【その他】

1. 「Wolfram 症候群の実態調査に基づく早期診断法の確立と診療指針作成のための研究班」(厚生労働省) 研究協力者

V. 研究助成

【学外】

1. 平成23年度文部科学省科学研究費補助金 (若手研究 B): 「入院患者における高カリウム血症の頻度とリスク要因に関する研究」

I. 教育活動

【学部】

- 調理学実習 I
- 調理学実習 II
- 調理学実習 III
- 調理科学実験
- 食品衛生学実験
- 生体科学実験・実習
- 土佐の自然と暮らし（オムニバス）

【非常勤】

- 高知学園短期大学生活科学学科 調理学実習 III

II. 研究活動

1. 論文

- (1) 西岡道子, 彼末富貴, 渡辺文雄: カツオ魚肉および内臓各部位のビタミンB₁₂含量, ビタミン学会誌**84**(7), pp. 322-324 (2010).

2. 学会発表

- (1) 西岡道子, 彼末富貴, 渡辺文雄: うるめいわしにおけるビタミンB₁₂の調理損失, 第44回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, (岡山 2011).

III. 委員会活動

1. 学年担当 (平成23年度入学生)
2. 入試監査委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. よい食生活をすすめるネットワーク役員
2. 土佐伝統食研究会会員
3. 高知県水産物 PR キャンペーン「親子おさかな料理教室」2011年8月6日, 10月1日, 10月15日, 11月5日, 2012年1月7日

【講演】

1. 高知県立大学生活科学部リカレント講座「高知の伝統食の新たな展開」講師松崎淳子, 彼末富貴, 高知女子大学池キャンパス, 2011年11月12日
2. アサヒ飲料×サニーマート料理教室「三ツ矢ちびっ子親子教室」講師, 5月5日

助手 **川村 真美 (KAWAMURA Mami)**

I. 教育活動

【学部】

- 食品衛生学実験
- 食品学実験

II. 研究活動

1. 学会発表

- (1) 渡邊浩幸, 岩佐千絢, 川村真美, 野中翔太, 奥原康英, 伊藤幸彦, 喜瀬光男:「高脂肪食負荷マウスに対する発芽玄米由来植物ステロール配糖体の効果」第65回日本栄養・食糧学会大会(東京都), 2011年5月
- (2) 渡邊浩幸, 川村真美, 野中翔太, 伊藤幸彦, 奥原康英, 喜瀬光男:「高脂肪食負荷マウスに対する発芽玄米由来植物ステロール配糖体の効果」, 日本脂質栄養学会第20回大会(埼玉県坂戸市), 2011年9月
- (3) 渡邊浩幸, 川村真美, 野中翔太, 伊藤幸彦, 奥原康英, 喜瀬光男:「高脂肪食誘導性うつ様行動へのTNF α の関与と発芽玄米由来ステロール配糖体(PSG)の効果」, 第32回日本肥満学会(兵庫県淡路市), 2011年9月
- (4) 渡邊浩幸, 彼末富貴, 川村真美, 楠瀬幸, 折原洋一, 野中翔太, 喜瀬光男:「炊飯米のテクスチャー特性に及ぼす茶抽出物の影響」, 第44回日本栄養・食糧学会大会 中国・四国支部会大会(岡山県総社市), 2011年11月
- (5) 川村真美, 小畑めぐみ, 渡邊浩幸:「魚の各種リン脂質の分画と脂肪酸組成分析」, 第44回日本栄養・食糧学会大会 中国・四国支部会大会(岡山県総社市), 2011年11月

2. その他

【研修会】

- (1) 第25回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 参加, 高知市, 2011年8月18~19日
- (2) 油化学関連シンポジウム in 高知「テーマは食」参加, 高知市, 2011年11月9日
- (3) 高知大学全学FDフォーラム2012「課題探究実践セミナー/学びの飛躍に向けて」参加, 高知市, 2012年1月25日
- (4) 10分間栄養カウンセリング法演習セミナー「気づきから目標化への行動変容支援」参加, 大阪市, 2012年1月29日
- (5) 公開講座「安心して安全な食生活をおこなうために」参加, 高知市, 2012年2月18日
- (6) (社)高知県栄養士会中央地区第五回病院栄養士会研修会「健康と食生活との関係・論文から読み取るエビデンス」参加, 高知市, 2012年3月3日
- (7) 高知県工業技術センター 平成23年度研究・支援活動成果報告会 研究成果パネル展示参加, 高知市, 2012年3月15日

Ⅲ. 委員会活動

1. キャリアセンター運営委員
2. 総合情報センター情報処理部会員
3. 学部就職担当

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養・食糧学会会員
2. 日本肥満学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 社団法人 日本栄養士会会員
5. 社団法人 高知県栄養士会会員

【その他】

1. 丸の内高校 大学模擬授業「高知県立大学健康栄養学部の紹介と学部の授業について」講師，高知市，2011年11月14日

I. 教育活動

【学部】

- 給食経営管理実習
- 給食経営管理臨地実習

II. 研究活動

1. 論文

- (1) 島田郁子, 谷口茉耶, 宇賀玲実, 沼田 聡: 豚肉を用いた肉軟化調味料および食肉品質改善剤の比較検討－給食施設における導入のための基礎的研究－, 高知県立大学紀要健康栄養学部編 **61**; p41-46, (2012)
- (2) Seiichi Hashida, Yusuke Miyzawa, Yoshie Hirajima, Asako Umehara, Mayumi Yamamoto and **Satoshi Numata**, Development of an Ultra-Sensitive Enzyme Immunoassay for Insulin and Its Application to the Evaluation of Diabetic Risk by Analysis of Morning Urine. Trends in Immunolabelled and Related Techniques, In Tech; p83-100, 2012

2. 学会発表

- (1) 沼田 聡, 島田郁子: 授業アンケートを活用した実践的な給食経営管理実習の内容検討, 第7回日本給食経営管理学会学術総会, 東京, 2011
- (2) 島田郁子, 谷口茉耶, 田中文美, 宮崎まどか, 池 知美, 三好翔子, 沼田 聡: 豚肉を用いた肉軟化調味料および食肉品質改良剤の比較検討, 第7回日本給食経営管理学会学術総会, 東京, 2011
- (3) 島田郁子, 沼田 聡, 池 知美, 田中文美, 宮崎まどか, 三好翔子, 幾井康仁, 中山泰弘: 産官学連携産業振興につなげるゆずを使用した料理・お菓子の開発 (第1報), 第7回日本給食経営管理学会学術総会, 東京, 2011

III. 委員会活動

1. 広報委員
2. 臨地実習委員 (学部)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. RKC 高知放送主催「子育て応援団 すこやか2011」高知ちばさんセンター (高知) 2011年7月23～24日
2. 東日本大震災災害支援活動 岩手県釜石市 2011年8月3～5日
3. 高知県園芸連主催 第3回高知のやさい・くだもの・花フェスタ「親子 de 高知県野菜 Cooking スクール」高知ちばさんセンター (高知) 2012年2月5日

【出前講座】

1. 高知県立大学健康栄養学部主催「きたるべき南海地震に備え, 今すべき食生活支援とは?」高

知市文化プラザかるぽーと（高知）2012年3月3日

【リカレント講座】

1. 高知県立大学健康栄養学部主催「こんな嚥下食ご存知ですか？」高知県立大学池キャンパス（高知）2012年3月24日



各種委員会活動報告

入試実施委員会 荒牧 礼子・和田 安彦

1. 平成24年度入試の概況

平成23年度に引き続き、受験関係者への広報、および365日オープンキャンパスの強化をすすめた。その結果、平成24年度入試の倍率は、推薦入試5.4倍、個別入試3.0倍と高倍率を維持した。また、男女共学となって2年目の年を迎えたこともあり、男子学生の出願者数は、推薦入試で3名、個別入試では13名と大幅に増加した。そのうち入学した男子学生は、3名であり、平成23年度入試に比較して増加した。なお、高知県内合格者の占める割合は、46.5%であった。入学区分、募集人員、志願者数（全体、県内）、受験者数（全体、県内）、合格者数（全体、県内）、入学者数（全体、県内）、志願倍率、合格倍率を下表に示した。

平成24年度高知県立大学健康栄養学部健康栄養学科入学試験結果

学部・学科名	区分	募集人員 A	男女別	志願者数B		受験者数C		合格者数D		追加合格者数		入学者数		辞退者数	入学者数		志願倍率		合格倍率	
				全体	(県内)	全体	(県内)	全体	(県内)	全体	(県内)	全体	(県内)		全体	(県内)	全体	(県内)	B/A	C/D
健康栄養学部 健康栄養学科	推薦	一般 県内	10	男	3	3	3	3	1	1	/	/	1	1	0	1	1	0.3	3.0	
				女	30	30	30	30	9	9	/	/	9	9	0	9	9	3.0	3.3	
				計	33	33	33	33	10	10	/	/	10	10	0	10	10	3.3	3.3	
	推薦	一般 全国	5	男	3	0	3	0	0	0	/	/	0	0	0	0	0	0.6		
				女	45	1	45	1	5	0	/	/	5	0	0	5	0	9.0	9.0	
				計	48	1	48	1	5	0	/	/	5	0	0	5	0	9.6	9.6	
	推薦	計	15	男	6	3	6	3	1	1	/	/	1	1	0	1	1	0.4	6.0	
				女	75	31	75	31	14	9	/	/	14	9	0	14	9	5.0	5.4	
				計	81	34	81	34	15	10	/	/	15	10	0	15	10	5.4	5.4	
	個別	前期	25	男	13	5	12	5	2	1	0	0	2	1	0	2	1	0.5	6.0	
				女	80	17	76	17	27	5	2	1	24	6	0	24	6	3.2	2.8	
				計	93	22	88	22	29	6	2	1	26	7	0	26	7	3.7	3.0	
	合計 (1年次計)		40	男	19	8	18	3	3	2	0	0	3	2	0	3	2	0.5	6.0	
				女	155	48	151	48	41	14	2	1	38	15	0	38	15	3.9	3.7	
				計	174	56	169	56	44	16	2	1	41	17	0	41	17	4.4	3.8	

2. 今後の課題

入試広報活動を通して、受験生や関係者に授業科目、授業の様子を伝え、信頼される情報伝達を展開した。今後は、外国人私費留学生枠の確保、および平成26年度センター試験科目の変更に伴い、試験科目数変更も視野に入れ、検討する必要がある。

1. 活動方針

教務：(中期計画・中期目標より)

- 1) 社会や学生の要請に応じた教養教育を行うため、課題を明確にし、教育目標の検討、科目群の編成方針の検討を行う。
- 2) コミュニケーション能力、問題解決能力等を育成するため、教養教育と専門教育の連携を検討する。
- 3) 学生による授業評価の動向を分析し、より適切、効果的な授業評価のあり方・方法について検討する。
- 4) 教育活動を効果的に実施するために、教育教材・視聴覚機器等の設備や学内教育情報システムなどの教育環境の整備／充実を図る。
- 5) 保護者への成績通知のあり方についての検討を行う。
- 6) 学部間及び同一法人大学間の教育協力の拡充、実務経験の豊富な人材登用による教育内容の改善及び充実を図る。
- 7) 教務事務内容の簡素化を図り、学生への学習支援に関連する対応の改善を図る。

共通教育：

- 1) 平成24年度からスタートする新カリキュラムの準備として、各学部の共通教育委員と連携しながら、共通教育科目の構成、開講時期、開講方法などを見直し、必要に応じて検討を行う。
- 2) IPE プロジェクト委員会と連携し、共通教育科目に新しく専門職連携教育プログラムの導入を目指す。

2. 活動内容

教務：

- 1) 共通教養科目の再編を円滑に推進するための共通教育委員会との連絡調整。
- 2) 授業評価の在り方の検討を行い、評価項目の見直しを実施した。
- 3) 各学部単位で行っていた保証人への学業成績の提供を、全学として導入することとした。
- 4) 非常勤講師採用の最強基準を明確化し、全学的な非常勤講師の資格審査委員会の設置および、教育研究審議会にて審議するルールが導入された。教務委員会では審査基準に照合した原案の確認・取りまとめを行った。
- 5) シラバス入力システムの導入を行った。将来的には、教務事務システムの機能改善、Web 入力による受講登録、シラバス作成、成績入力、時間割、お知らせ・アンケート及び携帯サイト等の機能を計画しており、現在進行中である。

履修モデルの作成

非常勤講師の区分及び非常勤講師資格審査委員会の結果
保証人への学業成績通知に関する基本方針についての申し合わせ

共通教育

- 4月：共通教育専門委員の副委員長に廣内が選出された。
- 4月：永国寺前期集中講義「食の科学」の開講日を決定した
- 4月：新入生および在学生のための共通教育科目の説明を行った。
- 5月：「心とからだの科学」開講日程の連絡調整を行った。
- 6月：6月27日実施の TOEIC-Bridge テストの待機要員を決定した。
- 6月：Web に掲載されていない科目について調査を行い学生課に報告した。
- 7月：平成24年度共通教育科目に必要な物品調査を行った。
- 8月：重複履修科目のあった学生について履修登録の調整を行った。
- 8月：新規非常勤講師の採用について審議を行った。
- 8月：後期池キャンパス開講の生物学入門について開講日時の連絡調整を行った。
- 9月：後期英語コミュニケーション担当者変更について審議を行った。
- 9月：共通教育科目の再編成案についての内容確認を行った。
- 10月：共通教養科目リスト、非常勤講師採用手続き、今後の教務関係作業日程についての確認作業を行った。
- 10月：新規共通教養科目リストに基づき、非常勤講師採用計画を策定した。
- 11月：12月5日実施の TOEIC Bridge IP テストの待機要員を決定した。
- 12月：包括認定を含めた、読み替え案について、検討を開始した。
- 12月：課題別教養科目について、開講キャンパス、隔年開講等の検討を開始した。
- 1月：共通教養教育科目について、開講の基本方針が通知された。
- 1月：平成24年度共通教養教育科目の時間割編成と調整を開始した。
- 1月：読み替え案について、再検討、再審議を各学部、学科で開始をした。
- 2月：共通教育専門委員会より提出した以下の案件が承認された。
 - (1) 共通教養教育科目の時間割
 - (2) 平成24年度共通教養教育科目の読み替え案
 - (3) 大学間協定に基づく単位互換提供科目
- 2月：共通教養教育科目の時間割を確定した。
- 3月：新年度の新生および在学生向けガイダンスを作成した。

3. 今後の課題

教務：

- 1) 中期目標・中期計画に基づく活動計画立案と実施
- 2) 教務システム電算化の拡充に関する準備・整備
- 3) 教育成果の評価のあり方・方法、システムの方法

共通教育：

- 1) 学生の自律的な学びを高める方針の検討
- 2) 新規科目担当者の適格性の判断システムに関する検討

教職課程専門委員会

教職課程専門委員会は、高知県立大学教職課程専門委員会規程第3条（所掌事項）に定められているとおり、専門委員会は、教職課程の企画運営に関する事項について審議し、執行している。

教職課程の企画運営に関する事項は次のとおりである。

- (1) 教職課程に関する科目の編成及び改廃並びに担当者に関する事項
 - (2) 教育実習（養護・栄養実習を含む）に関する事項
 - (3) 介護等体験に関する事項
 - (4) その他教職課程に関する事項
- 教職課程のカリキュラム立案等、免許状更新講習の実施に関する事項を審議し、及び実施している。
 - 委員会は、具体的なカリキュラムについては、必要に応じて当該委員会において検討をしている。
 - また、免許状更新講習を、各学部教職専門委員が企画し、学部教授会で審議、教職課程専門委員会へ提案・承認を受けて、文科省へ認定申請している。

平成23年度の教職課程専門委員会での主な審議事項は、以下の通りである。

- 教育実習巡回指導について
- 介護等体験巡回指導について
- 国語科教育法Ⅲ・Ⅳ、英語科教育法Ⅲ・Ⅳの開講について
- 教育実習について
- 看護学部の取得免許状について
- 平成24年度時間割について
- 教員採用試験受験者の模擬面接、模擬授業の案作成、模擬試験官・面接官
- 平成24年度「教職に関する専門教育科目」の改正について
- 平成24年度文化学部「教科に関する専門教育科目」の改正について

1. 活動方針

高知県立大学の学生の福利厚生、奨学生選考等、学生生活を支援するための事項を審議する。

2. 活動内容

- (1) 授業料減免及び奨学金に関する事項
- (2) 学生寮の管理運営に関する事項
- (3) 学生の表彰に関する事項
- (4) 学生の課外活動に関する事項
- (5) 学生会館の管理運営に関する事項
- (6) その他学生の福利厚生に関する事項

3. その他具体的事項

- * 授業料免除について
 - 東日本大震災に伴う免除基準
 - 授業料免除基準の全国調査を実施
- * 学長賞・大学賞について
 - 規定改正を実施
- * 「新入生のつどい」について
- * 新入生及び在学生のオリエンテーションについて
 - 交通安全講習の実施
- * キャンパス安全ガイドについて
- * 四国インカレについて：日程、壮行式、キャンパスグッズ作成など
- * 年間行事予定
- * バス通学について
- * 駐輪場、駐車場、街灯設置について：池キャンパス駐車場について
- * キャンパスグッズ・卒業記念品について
- * 池キャンパス周辺及び男子学生の新寮の検討について

1. 活動内容

1) 全学的取り組み

本学では、池・永国寺両キャンパスのキャリアセンターに就職相談員が配置され、教員と共に就職に関する指導と支援をしている。キャリアセンター（愛称：ワクワク Work!!）が、平成14年4月に新設され、年次を問わず、就職に関する様々な質問や相談に応じている。就職活動に関する個別相談、企業への提出書類のチェックや模擬面接の実施等、安心して就職活動に取り組めるよう、一人ひとりの学生への徹底した指導・サポートを行っている。また、知りたい情報がいつでも自由に閲覧できるように、病院、施設、企業関連の資料や公務員の募集要項、就職関連図書などを豊富に揃えている。就職情報の情報化に対応してパソコンコーナーも設置、就職情報サイトへの登録や企業・業界情報の収集、企業から自分宛てに届いたメールのチェックなど、多くの学生が自由に利用している。さらに、求人実績のある企業や医療・福祉関係を中心に、採用計画・先輩の有無・就職試験の傾向と対策など、本学独自の企業データも検索することができる。卒業生が残した詳細な就職活動の記録である就職活動報告書があり、後輩学生の参考になっている。

またワクワク Work!! 主催の模擬試験や就職活動の進め方についてのガイダンスが数多く実施されており、ガイダンスへの積極的な参加を呼びかけ就職活動の活性化を図った。

平成23年度7月より、ハローワーク高知の大卒ジョブサポーター1名が、それまで毎週1回であったのが、毎週2回水曜と金曜の午後、池ワクワク Work!! に来て、学生の個別相談を受ける体制となり、就職活動の支援がより強化された。また、大卒ジョブサポーターによって高知県のみでなく全国の採用情報が効率的に多く提供されるようになり、就職活動の活性化に繋がった。

2) 学部の取り組み

学部独自に2名の就職担当教員を配置しており、学年担当教員や卒業研究指導教員と連携して就職を支援した。密に連絡を取り、就職活動の活性化に務め、個別に提出書類の添削・指導を行い、就職情報の提供や支援を行った。またワクワク Work!! 主催の就職ガイダンスへの積極的な参加を促した。

また、平成20(2008)年度より開催している学部独自の就職セミナーを、今期は3回開催した。ほとんどの学部在生が参加し、参加感想アンケートを集計すると、就職活動の参考になるだけでなく、日々の授業での勉学の重要性の認識や国家試験勉強の動機付けにも繋がり、よい刺激になったことが窺えた。

以下にキャリアセンターおよび学部が主催した就職支援企画への参加実績を示した。

月 日	キャンパス	タイトル	対象	健康 栄養 参加数
2011/4/7	池	オリエンテーション	3回生	16
			4回生	15
		企業実習オリエンテーション	2・3・4回生	12
2011/4/11	池	教員採用試験模擬試験	2・3・4回生	5

2011/4/25	池	高知県教員採用試験説明会	4回生	4
2011/4/28	池	高知県職員採用試験説明会	4回生	3
2011/5/21	永国寺	公務員ガイダンス	全学年	1
		教員ガイダンス	全学年	18
2011/5/23	池	大切な一步を踏み出すために（講演会）	3回生	19
2011/5/28	池	公務員ガイダンス	全学年	27
2011/6/6	池	R-CAP（適職検査）受検会 *有料 ※R-CAPのみ（自己分析廃止）	2・3回生	10
2011/7/16 ・ 2011/7/18	永国寺	就職必勝・実践 WIN 講座 *有料	3回生	11
				-
				9
2011/8/12	池	教員採用試験2次審査 模擬授業・面接会 *有料	4回生	2
2011/10/3	池	SPI 解説会	全学年	50
2011/10/8	池	健康栄養学部第1回健康栄養学科就職セミナー	全学年	86
2011/10/17	池	業界・企業研究の仕方	2・3回生	18
2011/11/7	池	リクルートファッション&メイク講習会	2・3・4回生	13
2011/11/14	永国寺	エントリーシート の書き方講座	3回生	7
2011/11/21	池	SPI 模擬試験（マークシート版） *有料	全学年	2
2011/12/2	池	就職情報サイト（リクナビ）の活用法	3回生	2
2011/12/3	大阪	合同会社説明会（インデックス大阪）バスツアー *有料	3回生	10
2011/12/10	永国寺	就職必勝・実践 WIN 講座 Part2 *有料	3回生	4
2011/12/12	池	LEC 公務員無料公開模試 *新	全学年	21
2012/1/12	永国寺	模擬面接会	3回生	2
2011/11/21	池	第2回 SPI 模擬試験（マークシート版） *有料	全学年	6
2012/1/16	池	健康栄養学部2・3回生 実習前マナー研修	2・3回生	49
2012/1/23	池	教えて！先輩 ～健康栄養学科編～	全学年	105
2012/1/28・29	池	就職必勝！ 実践 WIN 講座 *有料	3回生	11
2012/2/4	永国寺	国家・地方公務員の仕事	1・2・3回生	1
2012/2/5	市内	公務員公開模擬試験	全学年	2
2012/2/10	永国寺	就業前ワンポイント講座 ～知っておきたい労働基準法～	4回生	3
2012/3/2	池	就業前ワンポイント講座 ～知っておきたい労働基準法～	4回生	9

【学部主催の就職セミナーについて】

2011年度第1回健康栄養学科就職セミナー
～社会人12年目・5年目・1年目の先輩を迎えて～
2011年10月8日（土）9：30～13：00

講師：卒業生6名

森麻紀さん（平成22年度卒業、五台山保育園管理栄養士）、山口紫織さん（平成22年度卒業、高幡会大西病院管理栄養士）、佐々木希さん（平成22年度卒業、高知県栄養教諭）、野崎弥生さん（平成18年度卒業、レディー薬局）、崎本佐衣さん（平成18年度卒業、高知県の町管理栄養士）、松永玲子さん（平成11年度卒業、鳥取大学医学部附属病院管理栄養士）



H22年度までは、卒業1年目の卒業生を講師に迎え、仕事の内容や就活での経験や管理栄養士国家試験の勉強法などを発表してもらったが、それに加え、H23年度は社会人として経験豊富な卒業生も招き、それぞれの職種について話してもらい、各職種の理解が深められるように努めた。

健康栄養学部2・3回生実習前マナー研修

2012年1月16日（月）14：30～16：00

講師：Office Takemura 竹村麻美氏

H23年度は、学部として初めて社会でのビジネスマナーを学ぶ研修を行った。

2011年度第2回健康栄養学部就職セミナー

～教えて先輩！ 健康栄養学科編～

2012年1月23日（月）14：30～17：30

講師：ハローワーク高知 大卒ジョブサポーター山岡智子さんと4回生就職内定者5名、池知美さん（高知県栄養教諭）、岡村加奈子さん（保育園管理栄養士）、宮崎まどかさん（高知県南国市管理栄養士）、泉奈央子さん（株リゾートトラスト）、新田知花さん（JA愛媛）

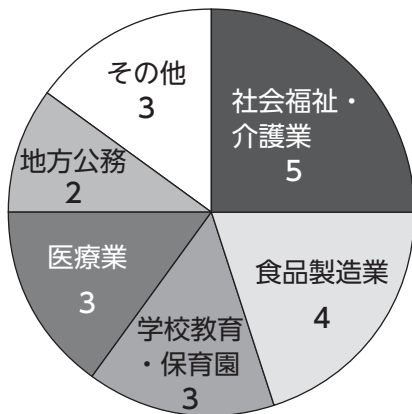


H23年度も、種々の職種の内定を勝ち取った4回生に、その職種を選んだ理由・就活の経過や管理栄養士国家試験への勉強法などを発表してもらった。また池キャンパスにきている大卒ジョブサポーターの役割と活用法などを紹介してもらい、就活の活性化を図った。

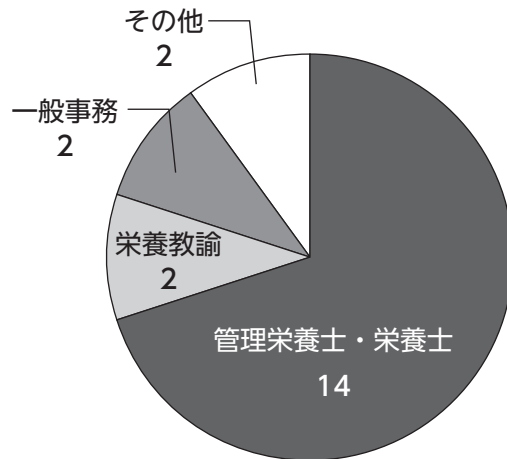
2. 成果

平成23年度3月の卒業生は21名であり、そのうち就職希望者の20名が内定し、就職内定率は100%であった。2月ごろまで内定が取れなかった学生は、就職担当教員・ワクワク Work!! 職員・ジョブサポーターの連携した個別指導の結果、内定を取ることができた。ジョブサポーターによる全国ハローワークにおける大学新卒者への採用状況の迅速な情報提供などのきめ細かな個別支援も100%の就職に繋がった。内定先の業界別および職種別内訳を示す。

業界別



職種別



3. 平成24年度の課題

大学にとって、学生が就職できるか、またどこに就職できるかは評価に大きく関わるものであり、大学の魅力の大きな要因と考えられる。キャリアセンター（ワクワク Work!!）は、学生一人一人の性格に合ったきめ細かい支援をし、手厚くサポートしており、その思いのある支援が就職率100%につながっているとも言える。したがって、学生の個人の特性に合った就職支援をするキャリアセンターの役割は大きい。平成24年度から、就職活動が本格化する3回生は学生定員が20名から40名に倍増し、池キャンパスの他の2学部でも3回生が倍増した。学生数の増加に伴い、就職率100%の維持が難しくなることが予想される。キャリアセンターが担っている学生からの相談、書類の添削、模擬面接などの業務も2倍となり、現在のキャリアセンターの体制では、これまでの就職支援のレベルを維持することは難しく、キャリアセンターの充実化を図ることが期待される。キャリアセンターと学部就職担当教員・学年担当教員が連携し、卒業研究指導教員およびキャリア支援部会員との協力体制を充実させ、就職活動を今以上に活発にする個別指導をしていくことが重要である。

1. 活動方針

受験生により深く健康栄養学部を知ってもらうために、ホームページを通して学部で実施している様々な学内・学外活動の紹介及びオープンキャンパスでの健康栄養学部の施設案内などの活動を積極的に取り組む。

2. 活動内容

(1) オープンキャンパス

オープンキャンパスでは、学部説明会や各研究室を巡るスタンプラリー、在学生・教員による相談コーナー、授業風景などを紹介したパネル展示を実施した。研究室スタンプラリーではスタンプを押して周るだけでなく、各研究室の専門分野にちなんだミニ実験を開き、教員や各研究室に所属している卒論生と交流することで学部の雰囲気を経験してもらった。

(2) 365日オープンキャンパス

健康栄養学部では大学のオープンキャンパス以外に、いつでも健康栄養学部を見学できる365日オープンキャンパスを行っており、毎年県内・県外ともに多くの高校生が参加している。主な内容としては、学部担当教員が“学部の紹介”、“講義室、実験・実習室の見学”などを実施し、高校生により深く健康栄養学部について知ってもらえるよう取り組んできた。

(3) 学部ホームページ

健康栄養学部で行われた実験・実習風景や校内・外で行われたイベント参加の紹介、学部主催で行われる講演会などの告知を掲載した。

(4) 大学案内2012

年度末の完成に向けて、授業紹介のための写真撮影や卒業生のコメントなどの準備を行ってきた。

3. 2011年度オープンキャンパスの様子



学部説明会



ミニ実験風景

1. 活動方針

大学再編に伴う大学の組織体制整備を基盤にして、教育・研究活動における地域とのつながりを強化する。

2. 活動内容

1) 高知県立大学 NEWS の編集（全学的活動）

2) 健康栄養学部リカレント教育講座実施（学部での活動）

現在、我が国では男女とも平均寿命が世界のトップとなり、超高齢化社会を迎えている。高齢者の栄養・食事ケアについては、栄養状態を配慮するだけではなく、食を通して介護を行い、高齢者個人の尊厳を保ち、QOLの向上を図ることが重要である。

そこで、平成23年度高知県立大学リカレント教育講座として、健康栄養学部では、栄養士、管理栄養士をはじめ、高齢者向けの食事に興味のある方を対象に、高齢者向けの食の質向上を目指した嚥下食（食事を飲み込む機能が低下している方のために、ゼリー状に固めたり、軟らかくして飲み込みやすくする食事のこと）に応用できる食事の紹介と、中華粥の実習を実施した。

講座名：こんな嚥下食ご存じですか？

開催日時：平成24年3月24日（土）10：00～14：00

開催場所：高知県立大学 池キャンパス 健康栄養学部棟 1階 調理学実習室

講師：健康栄養学科 講師 島田 郁子『嚥んで飲み込むおいしい食事』

RKC 調理師学校 上村 尚『中華粥で元気になろう』

参加者数：18名



ホットパッククッキングの紹介



「中華粥」の実習

3. 今後の課題

「地域貢献型大学」として、地域の方々にとって最も身近で、地域の期待に応えられるような講座内容の企画や最新情報の発信等が必要であると考えられる。

1. 活動方針

健康長寿センターを開放し、県民対象の健康相談、健康長寿体験型セミナー、高知医療センターとの協働による専門職者の力量アップ事業等を実施し、地域住民の健康づくりに寄与する

2. 活動内容

A. 高知大学医学部との共催講演会

「診療関連死の警察届出の判断－患者が転倒死した場合、警察届出を行いますか。行う場合誰が行いますか。」

日時：2011年5月26日 18：00～

場所：高知大学医学部附属病院

演者：前田正一（慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究科）

B. 健康長寿社会を支える介護福祉の在り方を考える啓発事業「健康長寿体験型セミナー」

第1回 健康長寿体験型セミナー（社会福祉学部企画）

日時：2011年6月25日 10：30～12：00

内容：「認知症とその理解－安心して暮らせるために－」

場所：永国寺キャンパス203および2階会議室

演者：北村ゆり（葉の花診療所）

第2回 健康長寿体験型セミナー（健康栄養学部企画）

日時：2011年10月1日 10：30～12：00

内容：「認知症とその理解－安心して暮らせるために－」

場所：須崎市公民館

演者：廣内智子、田中守

第3回 健康長寿体験型セミナー（看護学部企画）

日時：2012年1月21日 10：30～12：00

場所：土佐市地域包括支援センター

演者：藤田冬子

C. 高知医療センターとの連携による健康長寿社会の実現に向けての専門職者の力量アップ事業（高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会事業）

- ・「インフォームド・コンセント－説明要件と説明同意文書」（2011年6月4日）
- ・「警察届出に関するレクチャーとスモール」（2011年6月4日）演者：前田正一
- ・CDSMP ワークショップ 演者：武田飛呂城、山中福子
- ・「模擬患者を活用した医療教育」（2011年10月23日）演者：池田光徳
- ・地域住民、患者を対象とした地域・社会貢献・治療食のパンフレット作成

- 地域住民、患者を対象としたカレンダー作成
- 土佐市における高齢者の介護予防に関する研究－老年症候群の予防・改善を目的とした学際的アプローチの検討
- 「食の安全性－正しい食生活をおこなうために－」（2012年2月18日）
演者：岡本威明（愛媛大学教育学部）田中守、廣内智子

その他：11月～12月 健康長寿文庫収載書籍の選定など

写真：須崎市公民館での健康長寿体験型セミナーの様子（健康栄養学部企画）



1. 平成23年度の活動方針

次のような委員会方針のもとで活動を行った。

- ① 既存の協定締結校との交流（本学学生の派遣及び外国人留学生受入）の推進及び、新たな協定校開拓（各学部・研究科単位でのカリキュラムに即した協定校の開拓を含む）の準備
- ② 留学生のための日本語教育体制の整備及び留学生に開かれた専門科目の充実化
- ③ 学生に対する海外留学に関する教育指導や情報提供などの支援体制の充実
- ④ 学生の国際交流に関する意識の喚起及び日常的な国際交流の機会の確保
- ⑤ 留学（派遣・受入）に関する危機管理体制の整備

2. 活動内容

1) 国際交流締結校との交流を深めた。

エルムズ大学短期受入を平成23年5月17日(火)から6月3日(金)までに、男子3名、女子2名の受入を行った。健康栄養学部としては、一泊二日の室戸青少年自然の家における研修を対応した。また、佐藤厚教授による「日本の食材」の講義を健康栄養学部2回生との合併授業として英語で行った。

2) JICA 事業の支援

看護学部が中心となり、JICA 事業「へき地での保健医療体制の向上」が9月19日から10月7日に実施された。グレナダ、コソボ、ザンビア、スーダン、スワジランド、ソロモン（2名）、タイ、フィリピンの8カ国から合計9名の研修員が来学した。9月25日(日)には、健康栄養学部主催の「日本の学校給食、日本における嚥下食」を各国の研修生に紹介した。また、11名の健康栄養学部の学生も参加し、SAT システムによる食事の栄養計算や学内の実習の様子を紹介した。各国の食事情にあわせて島田先生や学部学生が考案したメニューによる昼食を楽しんだ。

3) マレーシアサバ大学との国際交流締結の整備

平成22年度から、島田先生が国際交流提携校として準備してきたマレーシアサバ大学食品栄養学部長が国際交流提携の準備のために、3月25日(日)から3月28日(水)に来学した。高知医療センター見学、土佐市特別養護老人ホームとさの里見学、学部教員との国際交流提携の目的とメリットについてのディスカッションなどを行った。また、本学の学長からは、大学としての国際交流締結の許可をいただいた。

4) 教員研究概要の英語による紹介

- 教員の研究概要について、ホームページ上に英語で掲載を行った。

5) 教員シラバスの英語による紹介

- 科目担当教員のシラバスについて、ホームページ上に英語で掲載を行うために準備をすすめた。

3. 今後の課題

食や管理栄養士に関する国際交流は、健康栄養学部が主体となり、運営と企画を行う必要がある。授業や研究以外での負担となるが、学部教員には、是非とも協力をお願いしたい。健康栄養学部教員の研究において、今後、活発な国際交流が進めることができるサバ大学の教員と連携した研究等を検討していただきたい。



エルムズ大学短期留学生プログラム「日本の食材」でのディスカッションの様子



JICA 事業のための昼食の準備
(前日の学生の様子)



昼食後、高知大学・高知県立大学で結成する「よさこいチーム“炎”」のメンバーのお手伝いをいただき、よさこい踊りを楽しみました。



サバ大学 Sharifudin 先生との会談後の様子

1. 活動方針

平成23年度の健康管理センターの活動方針は以下の通りである。

- 1) 健康教育活動の活性化（健康教育講演会の開催と健康課題の抽出）
- 2) 健康自己管理活動の促進（ヘルスパスポートの活用促進等）
- 3) 健康危機管理体制の確立に向けた取り組み
- 4) 健康管理に関する個人情報保護
- 5) 健康相談活動の充実
- 6) 健診活動の強化

2. 活動内容

1) 健康教育活動の活性化：

3回の講演会が以下の通り、それぞれ池と永国寺の両キャンパスで開催された。

- ①「女性の健康とからだについて」（1年生向け、夏休み前の7月）（高知医療センター婦人科長 木下宏美医師）（参加率57%）
- ②「メンタルヘルスとストレス対処法」（3、4年生向け、11月）（看護学部 畠山卓也助教）（参加率15%）
- ③「知ってトクする健康的な食生活」（2年生向け、11月）（本学部 廣内智子講師、古川弘子助教）（参加率36%）

参加率については学年が進むほど低率であった。また、年度の途中から「学生主体」の「キャンパス安心委員会 CAI」が役員会の意向で作られ、安全な通学等呼びかける館内放送がほぼ毎日18時前に行われ出した。講演会開始直前の放送であり、帰宅を促す効果もあったため、せめて学生向け講演会開催を放送内容に追加するよう運営委員から学生課に依頼した。しかし、学生主体とすることで受け入れられなかった。参加率を上げるため、館内放送の提案が検討されたが、放送の基準があるということで、未だ実現していない。

また、学長からの健康課題の抽出をとの意向を受けて、今年度は試験的に3年生に対してアンケート調査を行った。結果、住居形態について当学部生は一人暮らしが80%（16名）と最も多かったのに対し、他学部とくに看護学部生は6割が「家族と一緒に」が最も多かった。通学手段は当学部生の6割が自転車、3割が自家用車、1割がバイクであった。他学部では看護学部生の7割弱が自家用車であり、他学部に比して多かった。睡眠時間について当学部生は6割が7時間で、他学部生に比べて長かった。睡眠の満足度について、当学部生は半数が「満足」ないし「ほぼ満足している」と回答したが、他学部とくに看護学部生はこれらへの回答が15%しかなかった。朝食の欠食については、当学部生の4割が週2～3日ないしそれ以上食べないと回答している。その理由で最も多かったのが身支度で忙しいから（4割）であった。アルバイトは、当学部生の65%が行っており、そのうち31%（4名）は週5日以上行っており、他学部に比べてこの割合が高かった。不安や悩みについては、「進路・就職」についてと「勉強・試験」についてのものが圧倒的に多く、当学部生ではそれぞれ90%、80%があると回答していたのに対し、他学部とくに看護学部生ではそれぞれ73%、95%と順番が入れ替わっていたのが特徴的であった。不定愁訴的なものの有無については、全学的に最も多かったのが「気分が落ち込んで、やる気がなくなった」の46%であったが、当

学部生はこの項目は30%と比較的少なかった。「食欲がなくなって食べられなくなったり、逆に食べ過ぎてしまう」に回答した者は当学部生では30%で、他学部とあまり差がなかった。全学と比べて特徴的だったのが、看護学部生の「不安や緊張が高まって、イライラしたり怒りっぽくなった」(54%)、「下痢をしたり、便秘をしやすくなった」(44%)の割合が他学部に比して高かったことである。以上まとめると、当学部生はアルバイト日数の多い者がいる点を除き、比較的ゆとりをもった学生生活をおくり、健康課題は比較的少なさそうだという結果であった。来年度は同様の調査を全学年に広げて行う予定である。

- 2) 健康自己管理活動の促進：昨年度から導入された「ヘルスパスポート」を当学部教員にも配布して周知をはかり、活用を促した。
- 3) 健康危機管理体制の確立に向けた取り組み：「救急対応のマニュアル」を作成した。また、時間外急病時連絡体制を、学生便覧等との整合性に配慮しつつ検討し、平成24年度新入生向けのものから修正することとなった。
- 4) 健康管理に関する個人情報保護：昨年度来、ガイドラインの素案を運営委員会で議論した。当学部の意見として、情報の保護には「保全」も含まれること、情報を長期にわたって保管することは学生と大学双方にとって有益（訴訟等での活用、保健情報の蓄積等）であると主張した。結果、「卒後5年で廃棄」、「電子ファイルは当該年度で廃棄」という内容は昨年度いったん削除された。しかし今年度、委員欠席もありこれらの期限が復活し、役員会でも了承されてしまった。今後、再考を願うばかりである。
- 5) 健康相談活動の充実：昨年度来、助産師の相談日も設けた。時間も延長されている。
- 6) 健診活動の強化：結果に基づき個別面談をセンターで行った。なお、今年度から学外の医師に学校医を依頼することとなり、9月から医療センター上村医師が派遣された。

1. 活動方針

総合情報センターは図書資料の収集，整理，保存，調査，閲覧及び情報処理システムの管理，運営を行い，教職員及び学生の教育，研究の情報処理に関する支援を行うだけでなく，地域社会の図書館活動及び学術情報システムの確立に協力することにより，地域の発展に寄与することを目的としている。総合情報センター運営委員会では，センターの運営その他に関する重要な事項を審議する。

2. 活動内容

- 1) 平成24年度から総合情報センターに専任教員が2名配置されることに伴い，高知県立大学総合情報センター・高知短期大学総合情報センター規程やセンター運営委員会規程など，関連する規程(案)を作成した。
- 2) 図書の適正な管理を目的として，高知県公立大学法人高知県立大学・高知短期大学図書管理規定(案)，及び高知県立大学・高知短期大学図書取扱内規(案)を作成した。また，これらの規程が施行されるまでに除却の必要がある書籍等の除却方法を決定した。
- 3) 図書館利用に関する学習を，それぞれの専門性に対応する形で学部毎に関係する授業等の中で教示することとした。

3. その他

インターネットへの接続を国立情報学研究所の SINET4（学術情報ネットワーク）経由に本年度中に切り替え予定であり，支障なく行うために周知徹底を図る必要がある。

1. 活動方針

セクシャル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントなど、人権に関する問題について、相談を受け付け、委員会で審議し、本学における良好で快適な研究教育環境を実現するために、活動している。

2. 活動内容

昨年度は、委員会を4回開催した。委員会への人権に関する相談は2件であった。委員会の取り組みとしては、8月31日に、全学の人権研修会を開催した。(講師：こうち男女共同参画センター 岡田 相談員、参加者：72名)

3. その他

ハラスメントをなくすための相談窓口が、本学ホームページに掲載されている。

1. 活動方針

健康栄養学部および大学院の学生や教員が実施する健康栄養学領域における研究の倫理に関する事項の審議をしており、本学における倫理基準に沿った適切な研究を行うために、活動している。

2. 活動内容

研究倫理審査の申請があれば、研究倫理審査委員会を開催する。昨年度は、7件の研究について倫理審査を実施した。

※審査結果の内訳：承認5件・非該当2件

1. 活動方針

高知女子大学紀要投稿要領、高知女子大学紀要原稿執筆要領、高知女子大学紀要査読要領に則り、年に一度の紀要を発行する。

※（県立大学に校名変更していたが、要領の修正はまだ今年度は行っていなかったため、高知女子大学のままであった）。

2. 活動内容

平成23年度 紀要編集スケジュール	
平成23年 8月1日(月)	第1回紀要編集委員会
9月30日(金)	紀要原稿投稿の締め切り
10月3日(月)	第2回紀要編集委員会
10月3日(月)～10月31日(月)	初回査読（4週間以内）
10月31日(月)～11月21日(月)	初回査読の修正（3週間以内）
11月21日(月)	再査読の依頼（再査読期間2週間以内）
12月5日(月)	再査読完了
12月5日(月)～12月19日(月)	再査読の修正（2週間以内）
12月19日(月)	第3回紀要編集委員会（掲載論文決定）
12月19日(月)～平成24年1月20日(金)	印刷
平成24年1月23日(月)～1月30日(月)	第1回著者校正
1月30日(月)～2月10日(金)	第1回訂正印刷
2月15日(水)～2月24日(金)	第2回著者校正
2月27日(月)～3月9日(金)	第2回訂正印刷
3月12日(月)～3月14日(水)	第3回著者校正
3月21日(水)	印刷終了・納入
3月23日(金)	発送作業（年度内に関係機関に発送）

※ 紀要編集委員会では、校名変更に伴っての要領の訂正・修正の検討を行った。

3. その他

※平成23年度は、高知県立大学になってから初の紀要発行であった。

高知県立大学紀要 健康栄養学部編 第61巻 2012年3月（平成24年3月）発行の論文題目および著者一覧を以下に示す。

論 文 題 目	著 者
働く人のメンタルヘルスの実態に対する意識調査 －メンタルヘルスに関する取組み状況並びにストレスの実態に着目して－	隅田 道代
急性期病院における糖尿病患者への栄養指導の解析 －地域連携につなげるために－	水島 直子
学校給食関係者の地場産物活用に対する意識や行動に関する考察	徳広 千恵
豚肉を用いた肉軟化調味料および食肉品質改良剤の比較検討	島田 郁子
在宅脳卒中患者の身体活動量に関連する因子の検討	浜岡 克伺
在宅高齢脳卒中患者の転倒恐怖感に関連する因子の検討 －ソーシャルネットワークに着目して－	吉本 好延
東日本大震災発生直前の自治体の災害時食糧備蓄の現状調査	廣内 智子

高知県立大学健康栄養学部報 第2号

平成23(2011)年度版

発行日：平成25年2月

編集：高知県立大学健康栄養学部

発行：高知県立大学健康栄養学部

〒781-8515 高知市池2751番地1

TEL 088-847-8700 (代表)

印刷：西村謄写堂